

長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科
博士後期課程

環境海洋資源学専攻
学生募集要項

令和5年4月入学・進学
(10月期・2月期募集)

令和5年10月入学・進学
(7月期募集)

令和4年8月

長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科

〒852-8521 長崎市文教町1番14号

TEL (095)819-2800

FAX (095)819-2857

目 次

◎ 教育理念・目標, アドミッション・ポリシー	1
◎ 令和5年4月入学者・進学者(10月期・2月期募集)	
○ 一般入試・社会人入試・外国人留学生入試	2
○ 進学者選考	11
◎ 令和5年10月入学者・進学者(7月期募集)	
○ 一般入試・社会人入試・外国人留学生入試	17
○ 進学者選考	26
◎ 博士後期課程教員一覧及び研究テーマ	31
◎ 本研究科所定の用紙等	
1. 検定料振込書(注)	
2. 入学願書(履歴書) [様式1]	
3. 入学試験写真票・入学試験受験票・検定料納付証明書貼付票 [様式2]	
4. 進学願書(履歴書) [様式3]	
5. 進学者選考写真票・進学者選考受験票 [様式4]	
6. 入学試験出願資格認定申請書 [様式5]	
7. 研究業績調書 [様式6]	
8. 研究(業務)経過報告書 [様式7]	
9. 学位論文要旨 [様式8]	
10. 研究計画の概要 [様式9]	
11. 受験・就学承諾書 [様式10] (社会人入試のみ)	
12. 住所シール	

(注) 検定料振込書については、取寄せが必要です。本学在学中の方は大学院係(水産学部本館2階)でお渡しできますが、それ以外の方は郵送しますので、「検定料振込書請求」と朱書きした封筒に、郵便切手(120円)を貼付した返信用封筒(角形2号)を同封のうえ、長崎大学総合生産科学域事務部東地区事務課大学院係(〒852-8521 長崎市文教町1番14号)までお送りください。

○ 教育理念・目標

21世紀は食料と環境の世紀といわれるように、国際的に自然・環境保全と生産・開発との調和が求められ、社会、企業及び行政はいずれも食料生産と環境の持続性を基本に据えています。このような社会的要請に応えるため、水産・環境科学総合研究科は「水産科学、環境科学及び両者を融合させた学際的・総合的分野の教育研究を推進することにより、環境や食料等の問題解決に貢献する実践的指導力を持つ高度専門職業人並びに国際性の高い研究者等の人材を養成し、環境と調和した人類の生存を実現するための新たな学際科学の創出と発展に資する」ことを基本理念として掲げています。水産食料の供給と環境保全を学問的ミッションとする水産科学と環境科学は、ともに人間と自然との共存・共生を志向しており、対象とする課題やその解決のための方法にも共通性が高く、学際融合が必要かつ極めて効果的な教育研究領域です。

本研究科博士後期課程環境海洋資源学専攻では、地域の課題解決に貢献するとともに、国際社会への対応力にも優れた水産科学、環境科学及び両者を融合させた学際分野の実践的な研究者を養成します。本専攻には以下の2つのコースがあります。

「水産科学コース」では、海洋食料資源を安全かつ高度に利用し適正に管理する新たな知識や技術を修得させます。

「環境科学コース」では、環境問題の解決及び環境と共生する持続可能な社会の構築に貢献する幅広い専門知識を修得させます。

アドミッション・ポリシー

環境海洋資源学専攻は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・水産科学、環境科学、両者が融合する学際的・総合的分野において、地域や現場、国際社会で課題の解決にあたる実践的指導者・研究者を目指す意欲があること。面接(口頭試問を含む)において評価します。
- ・水産科学コース入学者には、海洋食料資源を安全かつ高度に利用し適正に管理する新たな知識や技術の修得に取り組む意欲があること、また、環境科学コース入学者には、環境問題の解決及び環境と共生する持続可能な社会の構築に貢献する幅広い専門知識の修得に取り組む意欲があること。面接(口頭試問を含む)において評価します。
- ・コースに関連する科学並びに英語力について修士修了レベルの知識と学力並びに語学運用力を持つこと。筆記試験(専門科目及び英語)又は面接(口頭試問を含む)により評価します。

選抜方法に関する別表(求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重：◎，大きい比重：○))

求める資質等 入試区分		実践的指導者・研究者を目指す意欲	関連分野の知識・技能の獲得に対する意欲	関連分野の基礎知識と学力	英語運用力
一般入試	面接(口頭試問を含む)	○	○	○	○
	書類審査			○	
	筆記試験(専門科目)			○	
	筆記試験(英語)				○
社会人入試 外国人留学生入試	面接(口頭試問を含む)	○	○	○	○
	書類審査			○	
進学者選考	面接(口頭試問を含む)	○	○	○	○
	書類審査			○	
	筆記試験(専門科目)			○	
	筆記試験(英語)				○

令和5年4月入学者
(10月期・2月期募集)

一 般 入 試
社 会 人 入 試
外 国 人 留 学 生 入 試

1. 専攻及び募集人員

専攻	募集時期	募集人員
環境海洋資源学専攻	10月期	4月入学 6人
	2月期	4月入学 4人

(注)募集人員には、進学者選考の募集人員も含む。

(注)10月期又は2月期合格者が募集人員に満たない場合は、2月期及び7月期(10月入学)の募集人員に加えて選抜する。

2. 出願資格 (次のいずれかに該当する者)

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和5年3月までに取得見込の者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和5年3月までに授与される見込の者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和5年3月までに授与される見込の者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和5年3月までに授与される見込の者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和5年3月までに授与される見込の者
- (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格した者及び令和5年3月までに合格が見込まれる者で、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者 (出願資格審査の提出書類が必要)
- (7) 文部科学大臣の指定した者 (平成元年文部省告示第118号)
 - ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者 (出願資格審査の提出書類が必要)
 - ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者 (出願資格審査の提出書類が必要)
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの又は令和5年3月31日までに24歳に達するもの (出願資格審査の提出書類が必要)

なお、社会人入試については、入学時において企業等に正規職員として勤務し、所属長の許可を受けた者で、上記のいずれかに該当する者。

また、外国人留学生入試については、日本国籍を有しない者 (日本国永住許可を受けている者を除く。)で、上記のいずれかに該当する者。ただし、日本の大学を卒業し、さらに日本の大学院を修了した者は出願できない。

3. 出願資格審査（出願前審査・該当者のみ）

前項の出願資格第（6）号、第（7）号、第（8）号のいずれかで出願しようとする者は、あらかじめ本研究科の行う出願資格審査を受け、出願資格を有する確認の証明を受けてから出願書類を提出すること。

なお、資格審査は、原則として提出された書類により行う。

（1）出願資格審査書類提出期限・提出先及び審査結果の通知

① 出願資格審査提出期限

○ 10月期募集：令和4年9月2日（金）17時まで <必着>

○ 2月期募集：令和4年12月2日（金）17時まで <必着>

② 出願資格審査書類提出先

〒852-8521 長崎市文教町1番14号

長崎大学総合生産科学域事務部東地区事務課大学院係

③ 出願資格審査結果通知

審査・認定の結果は、出願前までに本人へ通知する。

（2）提出書類

提出書類	摘要
入学試験出願資格認定申請書 【様式5】	本研究科所定の用紙
卒業証明書	出身大学（学部又は研究科）長が証明したもの。 大学以外の短期大学等については、最終学校長が証明したもの。
成績証明書	出身大学（学部又は研究科）長が証明し、厳封したもの。 大学以外の短期大学等については、最終学校長が証明したもの。
研究業績調書 【様式6】	本研究科所定の用紙に、学位論文、研究発表、研究報告、学会発表等を記入すること。（有する者のみ）
研究（業務）経過報告書 【様式7】	本研究科所定の用紙に、「研究業績調書」に記載した学位論文、研究発表等について詳述し、その根拠となる資料等の写しを添付すること。
出願資格審査結果返送用封筒	長形3号の封筒に、郵便番号、住所及び氏名を明記し、所定料金分の郵便切手（速達）を貼付すること。
博士論文研究基礎力審査合格（見込み）証明書 （出願資格（6）での申請者のみ）	最終出身大学（学部又は研究科）長が証明したもの。 大学以外の短期大学等については、最終学校長が証明したもの。
在留資格を証明するもの （外国人留学生のみ）	在留カード又は旅券の写しを提出すること。

（注）【様式7】は、パソコン（ワープロ）使用可

4. 出願手続・方法

(1) 出願手続期間

○ 10月期募集

令和4年9月15日(木)から10月6日(木)まで <必着>

○ 2月期募集

令和4年12月9日(金)から令和5年1月6日(金)まで <必着>

(2) 受付時間 平日(土日祝日及び年末年始を除く) 9時から17時まで

(3) 出願書類等提出先

〒852-8521 長崎市文教町1番14号

長崎大学総合生産科学域事務部東地区事務課大学院係

(4) 志願に際しては、予め主たる指導を希望する指導教員と面談を行ったうえ、入学願書に指導予定教員名を記入すること。

(5) 出願書類等

志願者は、下記の出願書類等を取りそろえ、角形2号の封筒にて出願期間内に提出すること。

出 願 書 類	摘 要
入学願書・履歴書【様式1】 受験票・写真票・検定料納付証明書貼付票【様式2】	本研究科所定の様式により、※印以外の欄をすべて記入すること。なお、写真は正面・上半身無帽で出願前3ヶ月以内に撮影したもの。(縦4cm×横3cm)
卒業証明書又は 修了(見込)証明書	出身大学(学部又は研究科)長が証明したもの。 短期大学等については、最終学校長が証明したもの。 ただし、出願資格審査時に提出した者は不要。
成績証明書 (学部又は研究科等)	出身大学(学部又は研究科)長が証明し、厳封したもの。 大学以外の短期大学等については、最終学校長が証明したもの。 ただし、出願資格審査時に提出した者は不要。
研究業績調書 【様式6】	本研究科所定の用紙に、学位論文、研究発表、研究報告、学会発表等について記入すること。(有する者のみ) ただし、出願資格審査時に提出した者は不要。
研究(業務)経過報告書 【様式7】	本研究科所定の用紙に、「研究業績調書」に記載した学位論文、研究発表等について詳述し、その根拠となる資料等の写しを添付すること。 ただし、出願資格審査時に提出した者は不要。
学位論文要旨 【様式8】	本研究科所定の用紙に、修士論文要旨を2,000字以内で記述すること。ただし、修士の学位を有しない者は不要。
研究計画の概要【様式9】	本研究科所定の用紙に、指導予定教員と相談のうえ研究(希望)計画を記入すること。
受験・就学承諾書【様式10】 (社会人入試のみ)	現に官公庁、民間会社に在職中の者は、本研究科所定用紙にて機関の長の承諾書を提出すること。

検 定 料
(30,000円)

(1) 振込期間

10月期募集：令和4年9月15日（木）～10月6日（木）

2月期募集：令和4年12月9日（金）

～令和5年1月6日（金）

※ 銀行の営業日，時間等を十分考慮して手続きを行うこと。

(2) 振込場所 各種銀行の受付窓口

(ATMは使用不可。必ず受付窓口で払い込むこと。)

(3) 振込方法

ア 振込時に別途必要な振込手数料は，入学志願者本人の負担となる。

イ 「検定料振込書」の※に，入学志願者の住所・氏名（フリガナ）及び電話番号を黒又は青のボールペンで正確に記入すること。

ウ 「検定料納付証明書」を受付窓口から受け取る際には，必ず取扱銀行収納印を確認すること。

(4) 出願に際しての留意事項

ア 検定料納付証明書貼付票に検定料を振込済の「検定料納付証明書」を貼り付けた後に記入誤り等に気付き，やむを得ず新しい検定料納付証明書貼付票に書き替えなければならない場合は，検定料は二重に振り込まないこと。その場合は，貼付済の「検定料納付証明書」を切り取って，新しい検定料納付証明書貼付票に貼り付けること。

イ 検定料が振り込まれていない場合，振込済の「検定料納付証明書」が検定料納付証明書貼付票の所定の欄に貼り付けていない場合，及び「検定料納付証明書」に取扱銀行収納印が押印されていない場合は出願を受理しない。

ウ 海外から検定料を送金する場合は，送金したことを証明できる資料（領収書等）を同封すること。

(5) 既納の検定料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しない。

検定料を振り込んだが長崎大学に出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合又は検定料を誤って二重に振り込んだ場合には，振り込んだ者の申し出により，当該検定料相当額は返還する。返還にかかる手数料は，原則，入学志願者本人の負担とする。

返還の申し出は，出願期間の最終日から14日以内とする。

※ 返還に関する問い合わせ先

長崎大学管理運営部経理調達課資金管理班 電話(095)819-2060

(6) 日本政府（文部科学省）国費外国人留学生は不要である。

受験票返送用封筒	長形3号の封筒に入学志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記のうえ、所定料金分の郵便切手（速達）を貼付すること。
住所シール	入学志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記すること。 なお、出願後に変更があった場合はただちに届け出ること。
在留資格を証明するもの (外国人留学生のみ)	在留カード又は旅券の写しを提出すること。ただし、出願資格審査時に提出した者は不要

(注) [様式7] [様式8] [様式9] は、パソコン（ワープロ）使用可

(注) 震災等の特別な事情により「卒業証明書及び修了（見込）証明書」「成績証明書」が提出できない場合は、出願前に長崎大学総合生産科学域事務部東地区事務課大学院係（095-819-2800）へ必ず相談すること。なお、外国人留学生については、指導予定教員に相談すること。

5. 選抜方法等

(1) 試験日時

○ 10月期募集

令和4年10月24日（月）、10月25日（火）又は10月26日（水）

<検査員が指定する日時>

○ 2月期募集

令和5年1月30日（月）、31日（火）又は2月1日（水）

<検査員が指定する日時>

(2) 試験場

長崎大学水産学部・環境科学部 <検査員が指定する場所>

(3) 選抜方法

以下のとおり、学力検査を実施する。

○ 一般入試：筆記試験（専門科目及び英語）又は面接試験 [出願書類審査を含む。]

○ 社会人入試・外国人留学生入試：面接試験 [出願書類審査を含む。]

※ 一般入試、社会人入試、外国人留学生入試においては、オンライン会議システム等を用いてオンライン入試を実施する場合がある。オンライン入試を希望する者は、予め主たる指導を希望する教員に相談すること。

(4) 学力検査の配点・評価方法

(配点)

○ 一般入試：筆記試験 200点（専門科目：100点、英語：100点）

面接試験 200点

○ 社会人入試・外国人留学生入試：面接試験 200点

(評価方法)

学力検査の結果に基づき、評価する。

(5) 受験上の注意事項

- 受験者は、本研究科が指定した時間までに所定の試験場に集合すること。
- 本研究科が交付した受験票を試験当日必ず持参すること。
- 試験開始後30分以内の遅刻者は、受験を認めるが試験時間の延長はしない。

6. 合格発表

- 10月期募集：令和4年12月1日（木）10時
- 2月期募集：令和5年2月24日（金）10時

※ 合格者の受験番号を環境科学部及び水産学部の玄関前に掲示するとともに、合格者宛に合格通知書を送付する。

なお、電話等による合否についての問い合わせには一切応じない。

7. 入学手続

合格した者は、下記により入学手続を行うこと。詳細については、合格通知書に同封する。

(1) 入学手続期間

- 10月期募集：令和5年2月13日（月）から2月21日（火）まで
- 2月期募集：令和5年2月27日（月）から3月13日（月）まで

(2) 受付時間 平日（土日祝日を除く）9時から17時まで

(3) 入学手続場所 長崎大学総合生産科学域事務部東地区事務課大学院係

(4) 納付金の納入

○入学金：282,000円 <入学手続期間内に振込むこと。>

(注) 既納の入学金は返還しない。

[参考]

- ① 令和4年度授業料（年額）：535,800円（前期分 267,900円，後期分 267,900円）
- ② 授業料の納入時期は、前期分4月，後期分10月になる。
- ③ 入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。
- ④ 入学金及び授業料については、免除又は徴収猶予の制度がある。詳細は、入学手続き関係書類で通知する。
- ⑤ 合格者のうち、日本政府（文部科学省）国費外国人留学生は、入学金及び授業料は不要である。

8. 注意事項

- (1) 不備のある出願書類は受理しない。
- (2) 出願手続後に提出書類の内容を変更することはできない。
- (3) 受理した出願書類は返却しない。
- (4) 提出書類等に虚偽の記載をした者は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがある。
- (5) 提出する外国の学校、機関が作成する書類が日本語又は英語以外の場合は、日本語訳を添付すること。

9. 入学志願者の個人情報について

- (1) 出願書類に記載された個人情報は、入学者選抜で利用するほか、住所・氏名を合格者に対する入学手続の案内業務に利用する。
- (2) 出願書類に記載された個人情報は、入学者選抜後本学への入学を許可された者について、学籍関係業務等に利用する。
- (3) 入学者選抜試験の成績及びその他の個人情報は、1年次における奨学生への推薦資料並びに入学料免除及び授業料免除等の選考資料として利用する。
- (4) 入学者選抜試験で利用した個人情報は、個人が特定できない形で、本学における入学者選抜に関する調査・研究資料として利用する。
- (5) 出願書類に記載された個人情報及び入学者選抜試験の結果等の個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、以上の目的以外で利用すること又は第三者に提供することはない。

10. 障がい等のある入学志願者との事前相談

障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、令和4年9月2日（金）までに、下記の内容を記載した申請書（様式は任意）に医師の診断書を添え、長崎大学総合生産科学域事務部東地区事務課大学院係と相談すること。なお、入学者選抜においては、事前相談の内容によって受験者が不利益を被ることはない。また、必要な場合は、本研究科において志願者又はその立場を代弁し得る出身大学関係者等との面談等を行うこともある。事前に相談がない場合は配慮が認められないこともある。

○ 申請書の記載内容

- ① 障がいの種類・程度
- ② 受験上の配慮を希望する事項
- ③ 修学上の配慮を希望する事項
- ④ 出身大学等でとられていた配慮
- ⑤ 日常生活の状態
- ⑥ 志願者の住所・氏名・連絡先電話番号（FAX番号）

☆本学では、長崎大学障がい学生支援室を設置して、障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っています。

11. 安全保障輸出管理について

本学は、外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和及び安全の維持を阻害することがないように、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っています。それにより、希望する教育・研究内容の変更を求める場合がありますのでご注意ください。

なお、詳細については、長崎大学総合生産科学域事務部東地区事務課大学院係までお問い合わせください。

12. その他

(1) 長期履修制度

長期履修制度とは、職業を有している等の事情により修学困難な者に対して、標準修業年限

を超えて一定の延長期間を加えた期間に、計画的な教育課程の履修を認めるものである。本研究科では、最長6年までの在学期間を認めている。

入学時に許可されれば、通常の修業年限（3年）において支払う授業料の総額を、長期履修期間として認められた期間に学期毎に均等分して支払うことになる。

長期履修を申し出ることができる者は、次のいずれかに該当する者で、標準修業年限内での修学が困難な事情にあるものである。

- [1] 職業を有し、就業している者
- [2] 家事、育児、介護等に従事している者
- [3] 障がいのある者
- [4] その他相当の事由があると認められる者

長期履修制度の利用を希望する場合は、事前に指導予定教員と相談の上、出願時に長崎大学総合生産科学域事務部東地区事務課大学院係（095-819-2800）に申し出ること。

（2）奨学制度

奨学金には、日本学生支援機構、都道府県・市区町村、民間の育英団体のものがある。ほとんどが貸与奨学金であり、修了後に返還が必要である。

日本学生支援機構奨学金には、無利子で貸与される「第一種奨学金」と、有利子で貸与される「第二種奨学金」がある。奨学金申請希望者は、学生支援部学生支援課（095-819-2104）へ直接相談すること。

13. 試験に関する問い合わせ先

〒852-8521 長崎市文教町1番14号

長崎大学総合生産科学域事務部東地区事務課大学院係

電話（095）819-2800

E-mail sui_daigakuin@ml.nagasaki-u.ac.jp

令和5年4月進学者
(10月期・2月期募集)

進 学 者 選 考

1. 専攻及び募集人員

専攻	募集時期	募集人員
環境海洋資源学専攻	10月期	4月入学 6人
	2月期	4月入学 4人

(注) 募集人員には、一般入試・社会人入試・外国人留学生入試の募集人員を含む。

(注) 10月期又は2月期合格者が募集人員に満たない場合は、2月期及び7月期(10月入学)の募集人員に加えて選抜する。

2. 出願資格

本学の大学院博士前期課程又は修士課程を令和5年3月に修了予定で、本課程に進学を志望する者。

3. 出願手続・方法

(1) 出願手続期間

10月期募集 令和4年9月15日(木)から10月6日(木)まで<必着>

2月期募集 令和4年12月9日(金)から令和5年1月6日(金)まで<必着>

(2) 受付時間 平日(土日祝日及び年末年始を除く) 9時から17時まで

(3) 出願書類等提出先

〒852-8521 長崎市文教町1番14号

長崎大学総合生産科学域事務部東地区事務課大学院係

(4) 志願に際しては、予め主たる指導を希望する指導教員と面談を行ったうえ、進学願書に指導予定教員名を記入すること。

(5) 出願書類等

志願者は、下記の出願書類等を取りそろえ、角形2号の封筒にて出願期間内に提出すること。

出願書類	摘要
進学願書・履歴書〔様式3〕 受験票・写真票〔様式4〕	本研究科所定の様式により、※印以外の欄をすべて記入すること。なお、写真は正面・上半身無帽で出願前3ヶ月以内に撮影したもの。(縦4cm×横3cm)
修了見込証明書	学長が証明したもの。
成績証明書(研究科)	学長が証明し、厳封したもの。
研究(業務)経過報告書 〔様式7〕	本研究科所定の用紙に、修士・博士前期課程における研究の経過を記入すること。
研究計画の概要〔様式9〕	本研究科所定の用紙に、指導予定教員と相談のうえ研究(希望)計画を記入すること。
受験票返送用封筒	長形3号の封筒に進学志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記のうえ、所定料金分の郵便切手(速達)を貼付すること。
住所シール	進学志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記すること。 なお、出願後に変更があった場合はただちに届け出ること。
在留資格を証明するもの (外国人留学生のみ)	在留カード又は旅券の写しを提出すること。

(注) 〔様式7〕〔様式9〕は、パソコン(ワープロ)使用可

4. 選考方法等

(1) 試験日時

10月期募集 令和4年10月24日(月), 10月25日(火)又は10月26日(水)
＜検査員が指定する日時＞

2月期募集 令和5年1月30日(月), 31日(火)又は2月1日(水)
＜検査員が指定する日時＞

(2) 試験場

長崎大学水産学部・環境科学部 <検査員が指定する場所>

(3) 選考方法

以下のとおり, 学力検査を実施する。

筆記試験(専門科目及び英語)又は面接試験[出願書類審査を含む。]

(4) 学力検査の配点・評価方法

(配点)

筆記試験 200点(専門科目:100点, 英語:100点)

面接試験 200点

(評価方法)

学力検査(筆記試験又は面接試験のいずれか)の結果に基づき, 評価する。

(5) 受験上の注意事項

- 受験者は, 本研究科が指定した時間までに所定の試験場に集合すること。
- 本研究科が交付した受験票を試験当日必ず持参すること。
- 試験開始後30分以内の遅刻者は, 受験を認めるが, 試験時間の延長はしない。

5. 合格発表

10月期募集: 令和4年12月1日(木) 10時

2月期募集: 令和5年2月24日(金) 10時

※ 合格者の受験番号を環境科学部及び水産学部の玄関前に掲示するとともに, 合格者宛に合格通知書を送付する。

なお, 電話等による合否についての問い合わせには一切応じない。

6. 進学手続

合格した者は, 下記により進学手続を行うこと。

(1) 進学手続期間

○ 10月期募集: 令和5年2月13日(月)から2月21日(火)まで

○ 2月期募集: 令和5年2月27日(月)から3月13日(月)まで

(2) 受付時間 平日(土日祝日は除く) 9時から17時まで

(3) 進学手続場所 長崎大学総合生産科学域事務部東地区事務課大学院係

(4) 進学時の必要経費

合格者（進学者）の入学料は不要である。

[参考]

- ① 令和4年度授業料（年額）：535,800円（前期分 267,900円，後期分 267,900円）
- ② 授業料の納入時期は，前期分4月，後期分10月になる。
- ③ 進学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用される。
- ④ 授業料については，免除又は徴収猶予の制度がある。詳細は，入学手続き関係書類で通知する。
- ⑤ 合格者のうち，日本政府（文部科学省）国費外国人留学生は，授業料は不要である。

7. 注意事項

- (1) 不備のある出願書類は受理しない。
- (2) 出願手続後に提出書類の内容を変更することはできない。
- (3) 受理した出願書類は返却しない。
- (4) 提出書類等に虚偽の記載をした者は，進学後であっても進学の許可を取り消すことがある。
- (5) 提出する外国の学校，機関が作成する書類が日本語又は英語以外の場合は，日本語訳を添付すること。

8. 進学志願者の個人情報の利用について

- (1) 出願書類に記載された個人情報は，進学者選考で利用するほか，住所・氏名を合格者に対する進学手続の案内業務に利用する。
- (2) 出願書類に記載された個人情報は，進学者選考後本学への進学を許可された者について，学籍関係業務等に利用する。
- (3) 進学者選考試験の成績及びその他の個人情報は，1年次における奨学生への推薦資料及び授業料免除等の選考資料として利用する。
- (4) 進学者選考試験で利用した個人情報は，個人が特定できない形で，本学における進学者選考に関する調査・研究資料として利用する。
- (5) 出願書類に記載された個人情報及び進学者選考試験の結果等の個人情報は，「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き，以上の目的以外で利用すること又は第三者に提供することはない。

9. 障がい等のある入学志願者との事前相談

障がい等のある入学志願者で，受験上及び修学上の配慮を必要とする者は，令和4年9月2日（金）までに，下記の内容を記載した申請書（様式は任意）に医師の診断書を添え，長崎大学総合生産科学域事務部東地区事務課大学院係と相談すること。なお，入学者選抜においては，事前相談の内容によって受験者が不利益を被ることはない。また，必要な場合は，本研究科において志願者又はその立場を代弁し得る出身大学関係者等との面談等を行うこともある。事前に相談がない場合は配慮が認められないこともある。

- 申請書の記載内容

- ① 障がいの種類・程度
- ② 受験上の配慮を希望する事項
- ③ 修学上の配慮を希望する事項
- ④ 出身大学等でとられていた配慮
- ⑤ 日常生活の状態
- ⑥ 志願者の住所・氏名・連絡先電話番号（FAX 番号）

☆本学では、長崎大学障がい学生支援室を設置して、障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っています。

10. 安全保障輸出管理について

本学は、外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和及び安全の維持を阻害することがないように、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っています。それにより、希望する教育・研究内容の変更を求める場合がありますのでご注意ください。

なお、詳細については、長崎大学総合生産科学域事務部東地区事務課大学院係までお問い合わせください。

11. その他

(1) 長期履修制度

長期履修制度とは、職業を有している等の事情により修学困難な者に対して、標準修業年限を超えて一定の延長期間を加えた期間に、計画的な教育課程の履修を認めるものである。本研究科では、最長6年までの在学期間を認めている。

進学時に許可されれば、通常の修業年限（3年）において支払う授業料の総額を、長期履修期間として認められた期間に学期毎に均等分して支払うことになる。

長期履修を申し出ることができる者は、次のいずれかに該当する者で、標準修業年限内での修学が困難な事情にあるものである。

- [1] 職業を有し、就業している者
- [2] 家事、育児、介護等に従事している者
- [3] 障がいのある者
- [4] その他相当の事由があると認められる者

長期履修制度の利用を希望する場合は、事前に指導予定教員と相談の上、出願時に長崎大学総合生産科学域事務部東地区事務課大学院係（095-819-2800）に申し出ること。

(2) 奨学制度

奨学金には、日本学生支援機構、都道府県・市区町村、民間の育英団体のものがある。ほとんどが貸与奨学金であり、修了後に返還が必要である。

日本学生支援機構奨学金には、無利子で貸与される「第一種奨学金」と、有利子で貸与される「第二種奨学金」がある。奨学金申請希望者は、学生支援部学生支援課（095-819-2104）へ直接相談すること。

12. 試験に関する問い合わせ先

〒852-8521 長崎市文教町1番14号

長崎大学総合生産科学域事務部東地区事務課大学院係

電話 (095) 819-2800

E-mail sui_daigakuin@ml.nagasaki-u.ac.jp

令和5年10月入学者
(7月期募集)

一 般 入 試
社 会 人 入 試
外 国 人 留 学 生 入 試

1. 専攻及び募集人員

専攻	募集時期	募集人員
環境海洋資源学専攻	7月期	2人

(注)募集人員には、進学者選考の募集人員も含む。

2. 出願資格（次のいずれかに該当する者）

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和5年9月までに取得見込の者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和5年9月までに授与される見込の者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和5年9月までに授与される見込の者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和5年9月までに授与される見込の者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和5年9月までに授与される見込の者
- (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格した者及び令和5年9月までに合格が見込まれる者で、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者（出願資格審査の提出書類が必要）
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
 - ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者（出願資格審査の提出書類が必要）
 - ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者（出願資格審査の提出書類が必要）
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの又は令和5年9月30日までに24歳に達するもの（出願資格審査の提出書類が必要）

なお、社会人入試については、入学時において企業等に正規職員として勤務し、所属長の許可を受けた者で、上記のいずれかに該当する者。

また、外国人留学生入試については、日本国籍を有しない者（日本国永住許可を受けている者を除く。）で、上記のいずれかに該当する者。ただし、日本の大学を卒業し、さらに日本の大学院を修了した者は出願できない。

3. 出願資格審査（出願前審査・該当者のみ）

前項の出願資格第（6）号、第（7）号、第（8）号のいずれかで出願しようとする者は、あらかじめ本研究科の行う出願資格審査を受け、出願資格を有する確認の証明を受けてから出願書類を提出すること。

なお、資格審査は、原則として提出された書類により行う。

（1）出願資格審査書類提出期限・提出先及び審査結果の通知

① 出願資格審査提出期限

○ 7月期募集：令和5年5月2日（火）17時まで <必着>

② 出願資格審査書類提出先

〒852-8521 長崎市文教町1番14号

長崎大学総合生産科学域事務部東地区事務課大学院係

③ 出願資格審査結果通知

審査・認定の結果は、出願前までに本人へ通知する。

（2）提出書類

提出書類	摘要
入学試験出願資格認定申請書 〔様式5〕	本研究科所定の用紙
卒業証明書	出身大学（学部又は研究科）長が証明したもの。 大学以外の短期大学等については、最終学校長が証明したもの。
成績証明書	出身大学（学部又は研究科）長が証明し、厳封したもの。 大学以外の短期大学等については、最終学校長が証明したもの。
研究業績調書 〔様式6〕	本研究科所定の用紙に、学位論文、研究発表、研究報告、学会発表等を記入すること。（有する者のみ）
研究（業務）経過報告書 〔様式7〕	本研究科所定の用紙に、「研究業績調書」に記載した学位論文、研究発表等について詳述し、その根拠となる資料等の写しを添付すること。
出願資格審査結果返送用封筒	長形3号の封筒に、郵便番号、住所及び氏名を明記し、所定料金分の郵便切手（速達）を貼付すること。
博士論文研究基礎力審査合格（見込み）証明書 （出願資格（6）での申請者のみ）	最終出身大学（学部又は研究科）長が証明したもの。 大学以外の短期大学等については、最終学校長が証明したもの。
在留資格を証明するもの （外国人留学生のみ）	在留カード又は旅券の写しを提出すること。

（注）〔様式7〕は、パソコン（ワープロ）使用可

4. 出願手続・方法

(1) 出願手続期間

○ 7月期募集

令和5年5月11日(木)から6月8日(木)まで <必着>

(2) 受付時間 平日(土日は除く) 9時から17時まで

(3) 出願書類等提出先

〒852-8521 長崎市文教町1番14号

長崎大学総合生産科学域事務部東地区事務課大学院係

(4) 志願に際しては、予め主たる指導を希望する指導教員と面談を行ったうえ、入学願書に指導予定教員名を記入すること。

(5) 出願書類等

志願者は、下記の出願書類等を取りそろえ、角形2号の封筒にて出願期間内に提出すること。

出 願 書 類	摘 要
入学願書・履歴書〔様式1〕 受験票・写真票・検定料納付 証明書貼付票〔様式2〕	本研究科所定の様式により、※印以外の欄をすべて記入すること。 なお、写真は正面・上半身無帽で出願前3ヶ月以内に撮影したもの。 (縦4cm×横3cm)
卒業証明書又は 修了(見込)証明書	出身大学(学部又は研究科)長が証明したもの。 短期大学等については、最終学校長が証明したもの。 ただし、出願資格審査時に提出した者は不要。
成績証明書 (学部又は研究科等)	出身大学(学部又は研究科)長が証明し、厳封したもの。 大学以外の短期大学等については、最終学校長が証明したもの。 ただし、出願資格審査時に提出した者は不要。
研究業績調書 〔様式6〕	本研究科所定の用紙に、学位論文、研究発表、研究報告、学会発表 等について記入すること。(有する者のみ) ただし、出願資格審査時に提出した者は不要。
研究(業務)経過報告書 〔様式7〕	本研究科所定の用紙に、「研究業績調書」に記載した学位論文、研究発 表等について詳述し、その根拠となる資料等の写しを添付すること。 ただし、出願資格審査時に提出した者は不要。
学位論文要旨 〔様式8〕	本研究科所定の用紙に、修士論文要旨を2,000字以内で記述す ること。ただし、修士の学位を有しない者は不要。
研究計画の概要〔様式9〕	本研究科所定の用紙に、指導予定教員と相談のうえ研究(希望)計 画を記入すること。
受験・就学承諾書〔様式10〕 (社会人入試のみ)	現に官公庁、民間会社に在職中の者は、本研究科所定用紙にて機関 の長の承諾書を提出すること。

<p>検 定 料 (3 0 , 0 0 0 円) ※検定料は改訂される可能性があります。</p>	<p>(1) 振込期間 7 月期募集：令和 5 年 5 月 1 1 日（木）～ 6 月 8 日（木） ※ 銀行の営業日，時間等を十分考慮して手続きを行うこと。</p> <p>(2) 振込場所 各種銀行の受付窓口 （ A T M は使用不可。必ず受付窓口で払い込むこと。）</p> <p>(3) 振込方法 ア 振込時に別途必要な振込手数料は，入学志願者本人の負担となる。 イ 「検定料振込書」の※に，入学志願者の住所・氏名（フリガナ）及び電話番号を黒又は青のボールペンで正確に記入すること。 ウ 「検定料納付証明書」を受付窓口から受け取る際には，必ず取扱銀行収納印を確認すること。</p> <p>(4) 出願に際しての留意事項 ア 検定料納付証明書貼付票に検定料を振込済の「検定料納付証明書」を貼り付けた後に記入誤り等に気付き，やむを得ず新しい検定料納付証明書貼付票に書き替えなければならない場合は，検定料は二重に振り込まないこと。その場合は，貼付済の「検定料納付証明書」を切り取って，新しい検定料納付証明書貼付票に貼り付けること。 イ 検定料が振り込まれていない場合，振込済の「検定料納付証明書」が検定料納付証明書貼付票の所定の欄に貼り付けていない場合，及び「検定料納付証明書」に取扱銀行収納印が押印されていない場合は出願を受理しない。 ウ 海外から検定料を送金する場合は，送金したことを証明できる資料（領収書等）を同封すること。</p> <p>(5) 既納の検定料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しない。 検定料を振り込んだが長崎大学に出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合又は検定料を誤って二重に振り込んだ場合には，振り込んだ者の申し出により，当該検定料相当額は返還する。返還にかかる手数料は，原則，入学志願者本人の負担とする。 返還の申し出は，出願期間の最終日から 1 4 日以内とする。 ※ 返還に関する問い合わせ先 長崎大学管理運営部経理調達課資金管理班 電話(095) 819-2060</p> <p>(6) 日本政府（文部科学省）国費外国人留学生は不要である。</p>
<p>受験票返送用封筒</p>	<p>長形 3 号の封筒に入学志願者の郵便番号，住所及び氏名を明記のうえ，所定料金分の郵便切手（速達）を貼付すること。</p>

住所シール	入学志願者の郵便番号，住所及び氏名を明記すること。 なお，出願後に変更があった場合はただちに届け出ること。
在留資格を証明するもの (外国人留学生のみ)	在留カード又は旅券の写しを提出すること。

(注) [様式7] [様式8] [様式9] は，パソコン（ワープロ）使用可

(注) 震災等の特別な事情により「卒業証明書及び修了（見込）証明書」「成績証明書」がそろわない場合は，出願前に総合生産科学域事務部東地区事務課大学院係（095-819-2800）へ必ず相談すること。なお，外国人留学生については，指導予定教員に相談すること。

5. 選抜方法等

(1) 試験日時

○ 7月期募集

令和5年7月3日（月），4日（火）又は7月5日（水）＜検査員が指定する日時＞

(2) 試験場

長崎大学水産学部・環境科学部 ＜検査員が指定する場所＞

(3) 選抜方法

以下のとおり，学力検査を実施する。

○ 一般入試：筆記試験（専門科目及び英語）又は面接試験 [出願書類審査を含む。]

○ 社会人入試・外国人留学生入試：面接試験 [出願書類審査を含む。]

※ 一般入試，社会人入試，外国人留学生入試においては，オンライン会議システム等を用いてオンライン入試を実施する場合がある。オンライン入試を希望する者は，予め主たる指導を希望する教員に相談すること。

(4) 学力検査の配点・評価方法

(配点)

○ 一般入試：筆記試験 200点（専門科目：100点，英語：100点）

面接試験 200点

○ 社会人入試・外国人留学生入試：面接試験 200点

(評価方法)

学力検査の結果に基づき，評価する。

(5) 受験上の注意事項

○ 受験者は，本研究科が指定した時間までに所定の試験場に集合すること。

○ 本研究科が交付した受験票を試験当日必ず持参すること。

○ 試験開始後30分以内の遅刻者は，受験を認めるが試験時間の延長はしない。

6. 合格発表

○ 7月期募集：令和5年7月28日（金）10時

※ 合格者の受験番号を環境科学部及び水産学部の玄関前に掲示するとともに、合格者宛に合格通知書を送付する。

なお、電話等による合否についての問い合わせには一切応じない。

7. 入学手続

合格した者は、下記により入学手続を行うこと。

(1) 入学手続期間（7月期募集）

令和5年8月17日（木）から8月23日（水）まで

平日（土日は除く）

(2) 受付時間 9時から17時まで

(3) 入学手続場所 長崎大学総合生産科学域事務部東地区事務課大学院係

(4) 納付金の納入

○入学料：282,000円 <入学手続期間内に振込むこと。>

(注) 既納の入学料は返還しない。

[参考]

① 令和4年度授業料（年額）：535,800円（前期分 267,900円，後期分 267,900円）

② 授業料の納入時期は、前期分4月，後期分10月になる。

③ 入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

④ 入学料及び授業料については、免除又は徴収猶予の制度がある。詳細は、入学手続き関係書類で通知する。

⑤ 合格者のうち、日本政府（文部科学省）国費外国人留学生は、入学料及び授業料は不要である。

8. 注意事項

(1) 不備のある出願書類は受理しない。

(2) 出願手続後に提出書類の内容を変更することはできない。

(3) 受理した出願書類は返却しない。

(4) 提出書類等に虚偽の記載をした者は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがある。

(5) 提出する外国の学校、機関が作成する書類が日本語又は英語以外の場合は、日本語訳を添付すること。

9. 入学志願者の個人情報の利用について

(1) 出願書類に記載された個人情報は、入学者選抜で利用するほか、住所・氏名を合格者に対する入学手続の案内業務に利用する。

(2) 出願書類に記載された個人情報は、入学者選抜後本学への入学を許可された者について、学籍関係業務等に利用する。

(3) 入学者選抜試験の成績及びその他の個人情報は、1年次における奨学生への推薦資料並びに入学料免除及び授業料免除等の選考資料として利用する。

- (4) 入学者選抜試験で利用した個人情報、個人が特定できない形で、本学における入学者選抜に関する調査・研究資料として利用する。
- (5) 出願書類に記載された個人情報及び入学者選抜試験の結果等の個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、以上の目的以外で利用すること又は第三者に提供することはない。

10. 障がい等のある入学志願者との事前相談

障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、令和5年5月2日（火）までに、下記の内容を記載した申請書（様式は任意）に医師の診断書を添え、長崎大学総合生産科学域事務部東地区事務課大学院係と相談すること。なお、入学者選抜においては、事前相談の内容によって受験者が不利益を被ることはない。また、必要な場合は、本研究科において志願者又はその立場を代弁し得る出身大学関係者等との面談等を行うこともある。事前に相談がない場合は配慮が認められないこともある。

○ 申請書の記載内容

- ① 障がいの種類・程度
- ② 受験上の配慮を希望する事項
- ③ 修学上の配慮を希望する事項
- ④ 出身大学等でとられていた配慮
- ⑤ 日常生活の状態
- ⑥ 志願者の住所・氏名・連絡先電話番号（FAX 番号）

☆本学では、長崎大学障がい学生支援室を設置して、障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っています。

11. 安全保障輸出管理について

本学は、外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和及び安全の維持を阻害することがないように、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っています。それにより、希望する教育・研究内容の変更を求める場合がありますのでご注意ください。

なお、詳細については、総合生産科学域事務部東地区事務課大学院係までお問い合わせください。

12. その他

(1) 長期履修制度

長期履修制度とは、職業を有している等の事情により修学困難な者に対して、標準修業年限を超えて一定の延長期間を加えた期間に、計画的な教育課程の履修を認めるものである。本研究科では、最長6年までの在学期間を認めている。

入学時に許可されれば、通常修業年限（3年）において支払う授業料の総額を、長期履修期間として認められた期間に学期毎に均等分して支払うことになる。

長期履修を申し出ることができる者は、次のいずれかに該当する者で、標準修業年限内での修学が困難な事情にあるものである。

- [1] 職業を有し、就業している者

[2] 家事，育児，介護等に従事している者

[3] 障がいのある者

[4] その他相当の事由があると認められる者

長期履修制度の利用を希望する場合は，事前に指導予定教員と相談の上，出願時に長崎大学総合生産科学域事務部東地区事務課大学院係（095-819-2800）に申し出ること。

（2）奨学制度

奨学金には，日本学生支援機構，都道府県・市区町村，民間の育英団体のものがある。ほとんどが貸与奨学金であり，修了後に返還が必要である。

日本学生支援機構奨学金には，無利子で貸与される「第一種奨学金」と，有利子で貸与される「第二種奨学金」がある。奨学金申請希望者は，学生支援部学生支援課（095-819-2105）へ直接相談すること。

13. 試験に関する問い合わせ先

〒852-8521 長崎市文教町1番14号

長崎大学総合生産科学域事務部東地区事務課大学院係

電話（095）819-2800

E-mail sui_daigakuin@ml.nagasaki-u.ac.jp

令和5年10月進学者
(7月期募集)

進 学 者 選 考

1. 専攻及び募集人員

専攻	募集時期	募集人員
環境海洋資源学専攻	7月期	2人

(注) 募集人員には、一般入試・社会人入試・外国人留学生入試の募集人員を含む。

2. 出願資格

本学の大学院博士前期課程又は修士課程を令和5年9月に修了予定で、本課程に進学を志望する者。

3. 出願手続・方法

(1) 出願手続期間

7月期募集 令和5年5月11日(木)から6月8日(木)まで<必着>

(2) 受付時間 平日(土日は除く) 9時から17時まで

(3) 出願書類等提出先

〒852-8521 長崎市文教町1番14号

長崎大学総合生産科学域事務部東地区事務課大学院係

(4) 志願に際しては、予め主たる指導を希望する指導教員と面談を行ったうえ、進学願書に指導予定教員名を記入すること。

(5) 出願書類等

志願者は、下記の出願書類等を取りそろえ、角形2号の封筒にて出願期間内に提出すること。

出願書類	摘要
進学願書・履歴書【様式3】 受験票・写真票【様式4】	本研究科所定の様式により、※印以外の欄をすべて記入すること。なお、写真は正面・上半身無帽で出願前3ヶ月以内に撮影したもの。(縦4cm×横3cm)
修了見込証明書	学長が証明したもの。
成績証明書(研究科)	学長が証明し、厳封したもの。
研究(業務)経過報告書 【様式7】	本研究科所定の用紙に、修士・博士前期課程における研究の経過を記入すること。
研究計画の概要【様式9】	本研究科所定の用紙に、指導予定教員と相談のうえ研究(希望)計画を記入すること。
受験票返送用封筒	長形3号の封筒に進学志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記のうえ、所定料金分の郵便切手(速達)を貼付すること。
住所シール	進学志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記すること。 なお、出願後に変更があった場合はただちに届け出ること。
在留資格を証明するもの (外国人留学生のみ)	在留カード又は旅券の写しを提出すること。

(注) 【様式7】【様式9】は、パソコン(ワープロ)使用可

4. 選考方法等

(1) 試験日時

7月期募集 令和5年7月3日(月), 4日(火)又は7月5日(水)

＜検査員が指定する日時＞

(2) 試験場

長崎大学水産学部・環境科学部 <検査員が指定する場所>

(3) 選考方法

以下のとおり, 学力検査を実施する。

筆記試験(専門科目及び英語)又は面接試験[出願書類審査を含む。]

(4) 学力検査の配点・評価方法

(配点)

筆記試験 200点(専門科目:100点, 英語:100点)

面接試験 200点

(評価方法)

学力検査(筆記試験又は面接試験のいずれか)の結果に基づき, 評価する。

(5) 受験上の注意事項

- 受験者は, 本研究科が指定した時間までに所定の試験場に集合すること。
- 本研究科が交付した受験票を試験当日必ず持参すること。
- 試験開始後30分以内の遅刻者は, 受験を認めるが, 試験時間の延長はしない。

5. 合格発表

7月期募集: 令和5年7月28日(金) 10時

※ 合格者の受験番号を環境科学部及び水産学部の玄関前に掲示するとともに, 合格者宛に合格通知書を送付する。

なお, 電話等による合否についての問い合わせには一切応じない。

6. 進学手続

合格した者は, 下記により進学手続を行うこと。

(1) 進学手続期間(7月期募集)

令和5年8月17日(木)から8月23日(水)まで

平日(土日は除く)

(2) 受付時間 9時から17時まで

(3) 進学手続場所 長崎大学総合生産科学域事務部東地区事務課大学院係

(4) 進学時の必要経費

合格者(進学者)の入学料は不要である。

[参考] ① 令和4年度授業料(年額): 535,800円(前期分 267,900円, 後期分 267,900円)

- ② 授業料の納入時期は、前期分4月、後期分10月になる。
- ③ 進学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。
- ④ 授業料については、免除又は徴収猶予の制度がある。詳細は、入学手続き関係書類で通知する。
- ⑤ 合格者のうち、日本政府（文部科学省）国費外国人留学生は、授業料は不要である。

7. 注意事項

- (1) 不備のある出願書類は受理しない。
- (2) 出願手続後に提出書類の内容を変更することはできない。
- (3) 受理した出願書類は返却しない。
- (4) 提出書類等に虚偽の記載をした者は、進学後であっても進学の許可を取り消すことがある。
- (5) 提出する外国の学校、機関が作成する書類が日本語又は英語以外の場合は、日本語訳を添付すること。

8. 進学志願者の個人情報の利用について

- (1) 出願書類に記載された個人情報は、進学者選考で利用するほか、住所・氏名を合格者に対する進学手続の案内業務に利用する。
- (2) 出願書類に記載された個人情報は、進学者選考後本学への進学を許可された者について、学籍関係業務等に利用する。
- (3) 進学者選考試験の成績及びその他の個人情報は、1年次における奨学生への推薦資料及び授業料免除等の選考資料として利用する。
- (4) 進学者選考試験で利用した個人情報は、個人が特定できない形で、本学における進学者選考に関する調査・研究資料として利用する。
- (5) 出願書類に記載された個人情報及び進学者選考試験の結果等の個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、以上の目的以外で利用すること又は第三者に提供することはない。

9. 障がい等のある入学志願者との事前相談

障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、令和5年5月2日（火）までに、下記の内容を記載した申請書（様式は任意）に医師の診断書を添え、長崎大学総合生産科学域事務部東地区事務課大学院係と相談すること。なお、入学者選抜においては、事前相談の内容によって受験者が不利益を被ることはない。また、必要な場合は、本研究科において志願者又はその立場を代弁し得る出身大学関係者等との面談等を行うこともある。事前に相談がない場合は配慮が認められないこともある。

- 申請書の記載内容
 - ① 障がいの種類・程度
 - ② 受験上の配慮を希望する事項
 - ③ 修学上の配慮を希望する事項
 - ④ 出身大学等でとられていた配慮
 - ⑤ 日常生活の状態

⑥ 志願者の住所・氏名・連絡先電話番号（FAX 番号）

☆本学では、長崎大学障がい学生支援室を設置して、障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っています。

10. 安全保障輸出管理について

本学は、外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和及び安全の維持を阻害することがないように、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っています。それにより、希望する教育・研究内容の変更を求める場合がありますのでご注意ください。

なお、詳細については、長崎大学総合生産科学域事務部東地区事務課大学院係までお問い合わせください。

11. その他

(1) 長期履修制度

長期履修制度とは、職業を有している等の事情により修学困難な者に対して、標準修業年限を超えて一定の延長期間を加えた期間に、計画的な教育課程の履修を認めるものである。本研究科では、最長6年までの在学期間を認めている。

進学時に許可されれば、通常の修業年限（3年）において支払う授業料の総額を、長期履修期間として認められた期間に学期毎に均等分して支払うことになる。

長期履修を申し出ることができる者は、次のいずれかに該当する者で、標準修業年限内での修学が困難な事情にあるものである。

- [1] 職業を有し、就業している者
- [2] 家事、育児、介護等に従事している者
- [3] 障がいのある者
- [4] その他相当の事由があると認められる者

長期履修制度の利用を希望する場合は、事前に指導予定教員と相談の上、出願時に長崎大学総合生産科学域事務部東地区事務課大学院係（095-819-2800）に申し出ること。

(2) 奨学制度

奨学金には、日本学生支援機構、都道府県・市区町村、民間の育英団体のものがある。ほとんどが貸与奨学金であり、修了後に返還が必要である。

日本学生支援機構奨学金には、無利子で貸与される「第一種奨学金」と、有利子で貸与される「第二種奨学金」がある。奨学金申請希望者は、学生支援部学生支援課（095-819-2104）へ直接相談すること。

12. 試験に関する問い合わせ先

〒852-8521 長崎市文教町1番14号

長崎大学総合生産科学域事務部東地区事務課大学院係

電話（095）819-2800

E-mail sui_daigakuin@ml.nagasaki-u.ac.jp

水産・環境科学総合研究科
博士後期課程教員一覧及び研究テーマ

水産科学コース

教員氏名	主 な 研 究 テ ー マ
天野 雅男 ※	海棲哺乳類の生態、系統分類に関する研究
荒川 修 ※	食中毒の原因となる魚介毒の分布、動態、生理機能に関する研究
石橋 郁人	海洋生物由来の生理活性物質の合成に関する研究
井上 徹志	魚介類の腸内共生微生物の研究 微生物の有効利用に関する研究
長富 潔	魚類抗酸化酵素の構造・機能及び病態生化学研究 魚介類内在性プロテアーゼの構造・機能に関する研究
亀田 和彦	水産物の需給関係の現代的変容に関する研究 水産資源の利用と管理に関する社会経済的研究
河邊 玲 ※	海洋動物をプラットフォームとした行動・環境計測手法の開発と応用 海洋環境変動に対する魚類の応答に関する研究
清田 雅史	水産資源解析、生態系モデル、生態学的指標等を用いた地域水産業と海洋生態系の健全性と持続可能性に関する研究
桑野 和可	磯焼けの原因に関する研究 海藻の凍結保存に関する研究 海藻の増殖・成熟に関する研究
阪倉 良孝 ※	海産魚類の種苗生産、海産魚類の初期生活史
舩田・シル・グレン・ペリス ※	海産付着動物（特に二枚貝類）の付着・変態機構に関する研究 汚損生物の付着防止対策研究
清水 健一	航海計器の適切な運用に関する研究、船内労働衛生環境に関する研究
菅 向志郎 ※	養殖魚介類の感染症に関する研究
鈴木 利一	浮遊生物の生態学的研究 海洋の微生物食物連鎖に関する研究
征矢野 清 ※	魚類の性成熟に関する生理学的・内分泌学的研究 魚類の生殖に及ぼす環境因子の影響解析 種苗生産及び養殖の技術開発
高谷 智裕	微細藻類の毒産生に関する研究 魚介毒の同定及び性状解明
武田 重信 ※	海洋植物プランクトン生産の制御機構に関する研究 海洋における栄養塩・微量金属元素の動態と生物活動の相互作用
谷山 茂人	水産物の食品栄養学的研究
ニシハ・ケロリー・オキ ※	藻場生態系の保全と回復に関する研究・ブルーカーボンに関する研究
松下 吉樹 ※	水産資源の持続的利用のための漁業技術、採集技術に関する研究
山口 敦子 ※	魚類の分類、分布・移動・回遊および生活史、再生産機構、生態系の構造と機能に関する研究
山口 健一	水生生物のタンパク質合成系に関する研究 海洋起源の機能性高分子物質に関する研究
山本 尚俊	日本における水産物の流通・取引に関する研究
和田 実	水圏微生物の生態に関する研究
市川 寿	海洋動物筋肉蛋白質の食品学的研究 ミオシンファミリーの特性とその利用に関する研究
河端 雄毅 ※	動物の対捕食者行動に関する研究、海洋生物における捕食-被食行動の相互作用に関する研究
金 禧珍	動物プランクトンの生理生態学的研究・海洋汚染に関する研究
小山 喬	養殖魚介類の遺伝育種に関する研究
近藤 能子 ※	海洋における鉄など微量金属元素の循環に関する生物地球化学的研究
滝川 哲太郎	海水や大気運動、海の流れや水温の変化などの物理現象、海洋物理環境と生態系の関係
竹内 清治	潮間帯～潮下帯の砂底に生息する底生動物の個体群・群集動態に関する研究
竹垣 毅	魚類や頭足類の進化・行動生態学研究
竹下 哲史	海洋生物資源に由来する生理活性物質の機能及びその応用に関する研究
濱田 友貴	魚介類アレルギーに関する研究、水産物の加工及び安全性に関する研究
平坂 勝也	水産物由来機能性栄養素に関する研究

広瀬 美由紀	水産音響, 魚類および動物プランクトンの分布・行動の音響観測
八木 光晴	船舶運用に関する研究 マイクロプラスチックに関する研究
柳下 直己	魚類の分類、系統、進化、分子生態
山田 明德	海洋生物および共生微生物の遺伝子・ゲノム解析による分子生物学的・生態学的・進化的研究
吉田 朝美	魚介類プロテアーゼの構造・機能、並びに水産食品分野への応用に関する研究
王 曜	水産物の食品科学と組織学的研究
上野 幹憲	海洋生物由来生理活性物質に関する研究, 海産魚培養細胞に関する研究
中村 乙水	魚類の行動生態・行動生理に関する研究
村田 良介	水産物の生殖機能におよぼす環境影響に関する研究
栗原 健夫	水生生物とくに貝類についての資源量変動に関する研究
黒田 啓行	魚類を対象とした資源動態、資源評価及び資源管理に関する数理的研究
鈴木 豪	サンゴ礁の保全・再生に関する研究
高橋 素光	海洋環境変動に対する小型浮魚類の資源応答機構に関する研究
名波 敦	サンゴ礁魚類の生態、生物多様性、保全、資源管理に関する研究
長谷川 徹	東シナ海域におけるプランクトン群集とその生育環境に関する研究

※印は、博士課程(5年一貫制)専任教員です。

環境科学コース

教員氏名	主 な 研 究 テ ー マ
朝倉 宏	リサイクル技術開発, マイクロプラスチック分析, 最終処分場の早期安定化技術開発
井口 恵一郎	淡水魚を中心とした水辺の生物多様性の評価と保全
馬越 孝道	雲仙火山の地震活動 地熱資源の活用
遠藤 愛子	水・エネルギー・食料ネクサス、沿岸海洋政策、学際研究
岡田 二郎	無脊椎動物における感覚と行動の神経機構 無脊椎動物の行動に対する環境化学物質の影響
河本 和明 ※	エアロゾル・雲・降水の相互作用 人工衛星データを用いた雲観測
片山 健介	人口減少局面における国土・地域・都市計画論 自治体の広域行政・広域連携 EUにおける空間計画制度変容の分析
五島 聖子	都市緑地のデザイン 海外における日本庭園の歴史と役割 日本庭園の鑑賞による心理効果
高尾 雄二 ※	環境中の微量有害有機化合物の分析と動態解析
長江 真樹 ※	ヒト医薬品が魚類の行動および繁殖機能に及ぼす影響解析 越境大気汚染物質の生物毒性評価に関する研究
中川 啓	地下環境における環境負荷物質の動態解析 地下水・土壌汚染の修復に関する研究 水文地球化学
仲山 英樹	環境汚染物質の有用物質への再資源化に資する生物機能の解明とその応用
西山 雅也	土壌圏における生物化学反応と微生物生態の解析・制御・利用
武藤 鉄司 ※	河川～デルタ～大陸棚堆積系の進化と地層形成ダイナミクス
山口 典之	主に渡り鳥を対象とした移動生態研究
渡邊 貴史	緑地・ランドスケープの構造と機能 緑地・ランドスケープの保全・再生政策
飯間 雅文	絶滅危惧種藻類の保全に関する研究
大田 真彦	発展途上国・先進国双方における森林政策・林業経済、自然資源管理、農村生業、コミュニティ開発、および持続可能な開発のための教育 (ESD)
利部 慎	水循環と人間活動の相互作用に関する科学的評価、地下水年齢の推定、同位体水文学

黒田 暁	環境社会学・地域社会学 地域共同資源管理論 合意形成論 震災復興活動支援 環境保全の持続可能性
重富 陽介	環境産業連関分析を用いた消費基準環境負荷量の解析および持続可能性評価
白川 誠司	デザイン型有機分子触媒を用いた環境調和型精密有機合成反応の開発
関 陽子	環境哲学, 環境倫理学 哲学的人間学の探究 自然と人間との共生にむけた倫理学の構築
昔 宣希	カーボンプライシング・炭素市場連携に関する研究
竹下 貴之	エネルギーのベストミックスに関するモデル分析, クリーンエネルギー技術の可能性評価
友澤 悠季	戦後日本における公害・環境思想の研究, 草の根の環境思想系譜の解明
中山 智喜	大気中の微量気体成分や微小粒子 (PM2.5 等) の動態・特性の室内実験および観測研究
服部 充	生物間相互作用を対象とした進化生態学 生物間相互作用が生物多様性に与える影響に関する研究
濱崎 宏則	流域ガバナンス 水資源・水環境ガバナンス 水のガバナンス改善のための政策・ステークホルダー連携に関する研究
深見 聡	持続可能な観光 生物文化多様性 島嶼観光 エコツーリズム ジオパーク 世界遺産 地理教育・環境教育論
本庄 萌	動物福祉法 EUとアメリカにおける動物法の比較研究
山口 真弘	地球温暖化や大気汚染が植物に及ぼす影響の評価
山本 裕基	環境劣化が社会厚生に与える影響の定量評価
吉田 護	災害リスク管理, 災害リスクガバナンス, 地域減災計画
和達 容子※	EU 環境ガバナンスの政治学的研究
久保 隆	有害化学物質による環境リスク評価
高巢 裕之	陸域からの物質流入が海洋環境に及ぼす影響の評価

※印は、博士課程（5年一貫制）専任教員です。

Nagasaki University Graduate School of
Fisheries and Environmental Sciences
Doctoral Program
Department of Environment and Fisheries Resources
Admissions Guide

April 2023 Enrollment
(October and February Applications)

October 2023 Enrollment
(July Application)

August 2022

Graduate School of Fisheries and Environmental Sciences

Nagasaki University

1-14, Bunkyo-machi, Nagasaki 852-8521, JAPAN

TEL (095)819-2800

FAX (095)819-2857

Table of Contents

© Educational Philosophy and Aim / Admissions Policy	37
© April 2023 Enrollment (October and February Applications)	
○ General Entrance Examination, Entrance Examination for Working People, Entrance Examination for International Students	39
© October 2023 Enrollment (July Application)	
○ General Entrance Examination, Entrance Examination for Working People, Entrance Examination for International Students	50
© List of faculty members and research themes.	61

1. Educational Philosophy and Aim

The twenty-first century is considered the era of food and the environment. Harmonization of environmental protection and development, as well as natural conservation and production of products, needs to be pursued. The most important tasks of this century for society, companies and governmental organizations are to conserve the global environment and to secure a sustainable food supply. In response to these social demands, the Graduate School of Fisheries and Environmental Sciences set out its basic principle: “To cultivate both advanced specialists with practical leadership skills and internationally competent researchers, who can address and provide solutions to environmental and food-security issues, and to contribute to the creation and development of new interdisciplinary science for achieving the existence of humanity in harmony with the environment, by promoting education and research in interdisciplinary and comprehensive academic fields of fisheries and environmental sciences.” Fisheries and environmental sciences both aspire for harmony and symbiosis of humans and nature and share much in their academic missions and methodologies. These are disciplines that need interdisciplinary integration to be effective.

The doctoral program, Department of Environment and Fisheries Resources, trains students to become practice-oriented researchers who can contribute to solving regional problems using their excellent abilities and work in international society in an interdisciplinary field that combines environmental science and fisheries. The Department offers the following two programs.

The Fisheries Science Program helps students acquire new knowledge and skills for safe, advanced uses of marine food resources and proper management of such resources.

The Environmental Science Program help students acquire broad and specialized knowledge to contribute to solving environmental problems and building a sustainable society that coexists in harmony with the environment.

2. Admissions Policy

The Department of Environment and Fisheries Resources expects prospective students to have the following competencies and attributes:

- Aspiration to become a leader/researcher who will actively be involved in solving problems of local, regional, and international scope within the interdisciplinary and comprehensive academic fields of fisheries and environmental sciences. Prospective students will be evaluated through an oral examination.
- For prospective students in the Fisheries Science Program: Aspiration to acquire new knowledge and skills for the safe and advanced application of marine food resources and proper management of these resources. For prospective students in the Environmental Sciences Program: Aspiration to acquire both broad and specialized knowledge to contribute to solving environmental problems and building a sustainable society that can coexists in harmony with the environment. Prospective students will be evaluated through an oral examination.

• Knowledge, academic ability, and language skills that are equivalent to a masters level coursework of each respective course and a working knowledge of English. Prospective students will be evaluated through a written (for specialized subject and English) or oral examination.

Selection Method : Evaluation methods for the required aptitude and its priority (most prioritized : ◎, prioritized : ○)

Expected Attributes		Aspiration to become a active leader/researcher	Aspiration to acquire knowledge and skills in related fields	Basic knowledge and academic ability in related fields	English proficiency
Examination Type					
General Entrance Examination	Oral examination (interview)	○	○	○	○
	Examination of application documents			○	
	Written test (specialized subject)			○	
	Written test (English)				○
Entrance Examination for Working People Entrance Examination for International Students	Oral examination (interview)	○	○	○	○
	Examination of application documents			○	
Screening for masters graduates	Oral examination (interview)	○	○	○	○
	Examination of application documents			○	
	Written test (specialized subject)			○	
	Written test (English)				○

April 2023 Enrollment
(October and February Applications)

General Entrance Examination
Entrance Examination for Working People
Entrance Examination for International Students

1. Department and Enrollment Quota

Department	Period	Student Intake
Department of Environment and Fisheries Resources	October	6 students for April Enrollment
	February	4 students for April Enrollment

Note: Student intake includes those students from a master's program.

Note: If successful applicants for October application or February application do not meet the student intake quota, the student intake deficit will be added to the quota for February application and July application (October enrollment).

2. Application Requirements (Applicants must meet any of the following criteria.)

- (1) Applicants who have a master's degree or professional degree, or are expected to acquire such a degree by March 2023;
- (2) Applicants who have received a degree equivalent to a master's degree or professional degree overseas, or are expected to receive such a degree by March 2023;
- (3) Applicants who have completed class subjects in Japan through correspondence education by an overseas school and received a degree equivalent to a master's degree or professional degree, or are expected to receive such a degree by March 2023;
- (4) Applicants who have completed a curriculum and were conferred a degree equivalent to a master's degree or professional degree at an educational institution in Japan with a curriculum of an overseas graduate school, which is regarded as an institution in line with the pertinent country's education system and is separately specified by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, or are expected to receive such a degree by March 2023;
- (5) Applicants who have completed a curriculum at the United Nations University and were conferred a degree equivalent to a master's degree, or are expected to receive such a degree by March 2023;
- (6) Applicants who have completed a curriculum and have passed an examination or an assessment equivalent to that described in Paragraph 2 of Article 16 of the Standards for the Establishment of Graduate Schools at an overseas school, an educational institution designated in category 4 above, or the United Nations University, or are expected to pass such an examination or an assessment by March 2023; and have been recognized as having academic abilities on par with or higher than those of a person with a master's degree (submission of documents for application qualification screening is required);
- (7) Applicants who are designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (Ministerial Announcement No. 118, Ministry of Education, Science, Sports and Culture, 1989);
 - ① Applicants who have engaged in research at a college/university, research institute, etc., for two or more years after graduating from college/university, and as a result of such research, are recognized as having scholastic abilities equivalent to or higher than those who have a master's degree in relation to the admission to a graduate school (submission of documents for application qualification screening is required);
 - ② Applicants who have engaged in research at a college/university, research institute, etc., for two or more years after completing 16 years of school education overseas or after completing 16 years of school education of an overseas school by completing class subjects in Japan through correspondence

education by such overseas school, and as a result of such research, are recognized as having scholastic abilities equivalent to or higher than those who have a master's degree in relation to the admission to a graduate school (submission of documents for application qualification screening is required.)

- (8) Applicants who are recognized by the Graduate School on the basis of individual application qualification screening as having scholastic abilities equivalent to or higher than those who have a master's degree or a professional degree and are 24 years old or older or will be 24 years old by March 31, 2023 (submission of documents for application qualification screening is required);

For Entrance Examination for Working People, applicants who are working for a company or other institution as a full-time employee at the time of admission, have obtained permission from the head of their institution, and meet any of the above criteria;

For Entrance Examination for International Students, applicants who do not obtain Japanese citizenship (excluding those who have a permanent residence permit in Japan) and meet any of the above criteria; however, applicants who graduated from a Japanese university and completed a master's course at a Japanese university cannot apply for this examination.

3. Application Qualification Screening (preliminary application screening, if applicable)

Applicants who fall under the application criteria (6), (7) or (8) listed above must undergo the application qualification screening by the Graduate School in advance, and submit application documents after receiving confirmation that they are qualified to apply for admission to this course.

As a general rule, the assessment will be made on the basis of the documents submitted.

- (1) Deadlines and place of submission of documents for application qualification screening and screening result notification

- ① Deadlines of submission of documents for application qualification screening
 - **October Application: due no later than 5:00 p.m., Friday, September 2, 2022**
 - **February Application: due no later than 5:00 p.m., Friday, December 2, 2022**

- ② Submit to:

The office for Graduate School of Fisheries and Environmental Sciences, Nagasaki University
1-14, Bunkyo-machi, Nagasaki 852-8521, Japan

- ③ Screening result notification

You will be notified of the screening results prior to application.

(2) Required Documents

Required Documents	Remarks
Application for Preliminary Screening [Form 5]	Fill out the form designated by the Graduate School.

Graduation Certificate	An official graduation certificate issued by the president of the university/college (undergraduate or graduate schools) you attended is required. For junior college or vocational school, an official graduation certificate issued by the president of the final school you attended is required.
Academic Transcript	An official transcript issued and sealed by the president of the university/college (undergraduate or graduate schools) you attended is required. For junior college or vocational school, an official transcript issued by the president of the final school you attended is required.
Certificate of Research Activities [Form 6]	Include a list of your theses, research publications, study reports, conference presentations, etc. (if any) on the form designated by the Graduate School.
Outline of Research-and-Development Content [Form 7]	Write a detailed description of the theses or research publications that are listed in the “Research Achievement Report,” on the form designated by the Graduate School, and attach a copy of such publications or other evidentiary or supporting materials.
Return Envelope for Screening Result Notification (For residents in Japan only)	Write your name, address and postal code on the return envelope (<i>Nagagata</i> #3) and put a prescribed postal stamp (for express mail) on it.
Proof of Passing (or Expected Passing) of Qualifying Examination (Applicants who fall under criterion (6))	Official proof issued by the president of the university/college (undergraduate or graduate schools) you attended is required. For junior college or vocational school, official proof issued by the president of the final school you attended is required.
Certificate of Eligibility for Status of Residence (Non-Japanese applicants only)	Submit a copy of your residence card or passport.

Note: Form 7 may be prepared using a word processor.

4. Application Process

(1) Application Period

○ October Application

Thursday, September 15 to Thursday, October 6, 2022

Application forms must arrive by October 6, 2022

○ February Application

Friday, December 9, 2022 to Friday, January 6, 2023

Application forms must arrive by January 6, 2023

- (2) Submission Hours: Weekdays 9:00 a.m. to 5:00 p.m. (excluding Saturdays, Sundays, national holidays, year-end and New Year holidays)
- (3) Submit to: The office for Graduate School of Fisheries and Environmental Sciences, Nagasaki University
1-14, Bunkyo-machi, Nagasaki 852-8521, Japan
- (4) **When applying for admission, applicants must have undergone an interview, in advance, with a faculty member from whom they wish to receive guidance and write the name of their expected academic supervisor on their application forms.**
- (5) Application Documents

Applicants must prepare all the documents listed below and submit them within the application period using the envelope (*kakugata* #2).

Application Documents	Remarks
Application for Enrollment [Form 1] Entrance examination Photo Card, Entrance Admission Ticket, Proof of Payment of Entrance Examination Fee [Form 2]	Fill out all fields, except for those that are marked with an asterisk (*), on the Forms designated by the Graduate School. Your photographs must be 4cm high x 3cm wide, showing a front view of your entire face and upper body (without a hat), and have been taken within the last 3 months.
Graduation Certificate or Completion (or Expected Completion) Certificate	An official graduation certificate issued by the president of the university/college (undergraduate or graduate schools) you attended is required. For junior college or vocational school, an official graduation certificate issued by the president of the final school you attended is required. Applicants who have already submitted this document for application qualification screening do not need to submit it again.
Academic Transcript (Undergraduate or Graduate Schools, etc.)	An official transcript issued and sealed by the president of the university/college (undergraduate or graduate schools) you attended is required. For junior college or vocational school, an official transcript issued by the president of the final school you attended is required. Applicants who have already submitted this document for application qualification screening do not need to submit it again.
Certificate of Research Activities [Form 6]	Include a list of your theses, research publications, study reports, conference presentations, etc. (if any) on the form designated by the Graduate School. Applicants who have already submitted this document for application qualification screening do not need to submit it again.
Outline of Research-and-Development	Write a detailed description of the theses or research publications that are listed in the “Research Achievement Report,” on the form designated by

<p>Content [Form 7]</p>	<p>the Graduate School, and attach a copy of such publications or other evidentiary or supporting materials.</p> <p>Applicants who have already submitted this document for application qualification screening do not need to submit it again.</p>
<p>Abstract of Master Thesis [Form 8]</p>	<p>Write a summary of your master thesis within 2,000 characters on the form designated by the Graduate School.</p> <p>Applicants who do not have a master’s degree do not need to submit this document.</p>
<p>Research Plan [Form 9]</p>	<p>Write a description of the research project you wish to conduct on the form designated by the Graduate School based upon prior discussion with your possible supervisor.</p>
<p>A letter of Acceptance on Examination and Enrolment [Form 10] (Entrance Examination for Working People only)</p>	<p>Applicants who currently work for a government office or private company are required to submit permission on the form designated by the Graduate School from the head of your institution for taking the entrance exam and studying at the university</p>
	<p>(1) Payment Period:</p> <p style="padding-left: 40px;">October Application:</p> <p style="padding-left: 80px;">Thursday, September 15 – Thursday, October 6, 2022</p> <p style="padding-left: 40px;">February Application:</p> <p style="padding-left: 80px;">Friday, December 9, 2022 – Friday, January 6, 2023</p> <p>* Please allow enough time for the payment to be processed as delays can happen due to the working days and hours of a bank.</p> <p>(2) Payment Place:</p> <p style="padding-left: 40px;">A teller’s window at a banking organization</p> <p>(Do not process your payment at an automatic teller machine (ATM). Make sure to process your payment at a teller’s window.)</p> <p>(3) Payment Method:</p> <p style="padding-left: 40px;">(a) Applicants will be responsible for all bank charges required separately when transferring the payment.</p> <p style="padding-left: 40px;">(b) Write your name (in katakana), address and telephone number properly in black or blue ink in the column marked with an asterisk (*) on the “payment slip for bank transfer of the examination fee.”</p> <p style="padding-left: 40px;">(c) When receiving “proof of payment of the examination fee” from a teller’s window, be sure to check that the bank’s stamp is included on it.</p> <p>(4) Things to keep in mind when preparing application forms</p> <p style="padding-left: 40px;">(a) Do not remit the examination fee over again even if you notice a mistake or typo after attaching the already issued “proof of payment of the examination fee” on the “form to attach proof of</p>

<p>Examination Fee (30,000 yen)</p>	<p>payment of the examination fee” and you are forced to prepare a new form. In such case, please peel off the “proof of payment” attached and attach it on a new form.</p> <p>(b) If your examination fee is not paid, your “proof of payment of the examination fee” is not attached in the appropriate space on the form to attach proof of payment of the examination fee, or the stamp of the payment handling bank is not stamped on the “proof of payment of the examination fee,” your application form will not be accepted.</p> <p>(5) An examination fee already paid will not be refunded for any reason except when:</p> <p>you have remitted the examination fee but did not apply for admission to Nagasaki University (i.e. you did not send application documents or your application was not accepted) or you remitted the examination fee over again by mistake. In such cases, an amount equal to the examination fee will be refunded upon your request. As a general rule, applicants will be responsible for any bank charges for refunding.</p> <p>A request for refund must be made within 14 days of the last day of the application period.</p> <p>* Contact information for inquiries about refunds Money Management Unit, Financial Management Section Finance Department, Nagasaki University Tel: (095) 819-2060</p> <p>(6) Applicants who are students sponsored by the Japanese government (the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology) do not need to pay the examination fee.</p>
<p>Return envelope for Sending Exam Admission Card (For residents in Japan only)</p>	<p>Write your name, address and postal code clearly on the return envelope (<i>nagagata</i> #3) and put a prescribed postal stamp (for express mail) on it.</p>
<p>Address Seal</p>	<p>Write your name, address and postal code clearly on the mailing label. Please notify us immediately of a change to your name, address or postal code after submitting the application forms.</p>
<p>Certificate of Eligibility for Status of Residence (Non-Japanese applicants only)</p>	<p>Submit a copy of your residence card or passport. Applicants who have already submitted this document for application qualification screening do not need to submit it again.</p>

Note: Forms 7, 8 and 9 may be prepared using a word processor.

Note: If you cannot obtain your “Graduation Certificate and Completion (or Expected Completion)

Certificate” and “Academic Transcript,” due to special circumstances, such as earthquake disaster, be sure to contact and consult with the office for Graduate School of Fisheries and Environmental Sciences, Nagasaki University, at telephone number 095-819-2800.※For international students, consult with the intended academic supervisor.

5. Selection of Applicants

(1) Date of Examination

○ October Application:

Monday, October 24, Tuesday, October 25 or Wednesday, October 26, 2022

<Day and time designated by examining staff>

○ February Application:

Monday, January 30, Tuesday, January 31 or Wednesday, February 1, 2023

<Day and time designated by examining staff>

(2) Venue of Examination

Nagasaki University Faculty of Fisheries and Faculty of Environmental Science

<Venue designated by examining staff>

(3) Selection Process

Academic achievement tests will be conducted as follows.

○ General Entrance Examination:

Written test (for specialized subject and English) or oral examination (interview) (including examination of application documents)

○ Entrance Examination for Working People and International Students:

Oral examination (interview) (including examination of application documents)

※ If an applicant hopes to take the examination, please consult with your potential supervisor in advance. The oral examination could be conducted using Online conference system.

(4) Allocation of Scores and Evaluation and Assessment Method of Academic Achievement Test (Allocation of Scores)

○ General Entrance Examination:

Written test: 200 points (100 points for specialized subject and 100 points for English)

Oral examination: 200 points

○ Entrance Examination for Working People and International Students:

Oral examination: 200 points

(Evaluation Method)

Evaluation will be made based on the results of the academic achievement test.

(5) Notes on Taking Examination

- Candidates must meet at the designated examination site by the time designated by the Graduate**

School.

- Make sure to bring with you the examination admission card issued by the Graduate School on the day of the entrance examination.
- If you are late for the start of the examination, you will be allowed to take the examination only if you arrive within 30 minutes of the start of the examination. However, the allotted examination time will not be extended.

6. Announcement of Successful Applicants

- **October Application: 10:00 a.m., Thursday, December 1, 2022**
- **February Application: 10:00 a.m., Friday, February 24, 2023**
 - * The application numbers of successful applicants will be posted on the bulletin board in front of the entrance of the Faculty of Environmental Science and Faculty of Fisheries and a letter of acceptance will be sent to successful applicants.
 - The University will not respond to any inquiries regarding the results of the examination by telephone or other forms of communication.

7. Enrollment Process

For successful applicants, complete the enrollment process as follows:

- (1) Enrollment Process Period (for October and February Applications)
 - **October Application: Monday, February 13 to Tuesday, February 21, 2023**
 - **February Application: Monday, February 27 to Monday, March 13, 2023**
- (2) Office Hours: Weekdays 9:00 a.m. to 5:00 p.m. (excluding Saturdays, Sundays and national holidays)
- (3) Enrollment Process Venue:
Contact: The office for Graduate School of Fisheries and Environmental Sciences, Nagasaki University
- (4) Payment of Fees
Enrollment Fee ¥282,000
<Be sure to remit the amount during the enrollment period.>
(Note) Enrollment fees shall not be refunded once paid.

[Additional Information]

- ① Tuition Fee for 2022 (Annually): ¥535,800
(The first semester ¥267,900 / The second semester ¥267,900)
 - ② Payment periods for the tuition fee will be as follows.
The first semester: April
The second semester: October
 - ③ If the tuition fee has been changed, the new tuition fee will apply from the date of revision.
 - ④ There is a provision for exemption or deferment of enrollment and tuition fees available for students.
 - ⑤ Admission and tuition fees are not required for international students recipients of the Japanese government (Monbukagakusho: MEXT) scholarship program.
- ※Details will be enclosed with the procedural documents sent to successful applicants.

8. Notes

- (1) Incomplete application documents will not be accepted.
- (2) After the application process, the submitted documents cannot be changed.
- (3) No submitted application documents will be returned.
- (4) Your admission may be canceled at any time, even after enrollment, if you make a false statement on your submitted application documents.
- (5) If any of the submitted application documents are prepared by an overseas school or institution and are written in a language other than Japanese, attach a Japanese translation.

9. Handling of Personal Information

- (1) Information obtained from application documents is used for selecting enrollees. In addition, personal information of successful applicants is used for giving guidance on enrollment procedures; thus, personal information of enrollees will be used for student registration.
- (2) Grades from entrance examinations and other personal information are used for selecting students to be recommended for the first year's scholarships and exemption and postponement of tuition fees.
- (3) Information obtained from application documents and entrance examinations are used in statistical surveys and research related to the selection of enrollees.
- (4) Information obtained from application documents and entrance examinations will not be used for purposes other than the above or provided to third parties except in cases stipulated in Article 9 of the Act on the Protection of Personal Information Held by Independent Administrative Agencies, etc.

10. Application Procedures for Those with Disabilities or Health-Related Needs

Applicants with disabilities or health-related needs will be able to receive special attention on request through a screening process given by the Graduate School (depending on the degree of disability). Those who need special attention in taking the examinations should submit the form 'Request for Applicants with Physical Disability' to the Office for Graduate School prior to application. Please submit the form with a medical certificate by Friday, September 2, 2022. Applicants shall not suffer a disadvantage in the screening process by the results of the advance consultation. A personal interview may be arranged with the applicant him/herself, his/her parent, or his/her surrogate.

○ The form should list the following information:

- ① Degree of disability
- ② Special measures to be taken for examinations
- ③ Special measures to be taken for course work
- ④ Special measures that were taken during the applicant's school of graduation
- ⑤ Special measures that are taken in daily life
- ⑥ Name, contact address, and phone number of the applicant

☆The Nagasaki University Student Accessibility Office will support students and applicants with disabilities.

11. Security Trade Control

Nagasaki University regulates the export of goods and provision of technology subject to safety concerns, in accordance with the Foreign Exchange and Foreign Trade Act, so that the research and education for non-Japanese students do not impede international peace and safety; accordingly, prospective students should keep in mind that they may be requested to change the contents of research and education. For further inquiries, consult the relevant office.

12. Others

(1) Extended Enrollment System

The Extended Enrollment System allows students for whom learning is difficult due to their employment situation or for other reasons to complete the program by covering the curriculum systematically over a certain period that exceeds the standard study period. The Graduate School allows them to extend the study period for up to six years.

If allowed at the time of enrollment, the total tuition fees, which are usually paid over the term of the regular course (three years), will be equally divided by the number of semesters during the extended study period. The divided tuition fee will be paid during the semester.

Those who meet any of the following criteria and who cannot complete the program within the term of the regular course may apply for the Extended Enrollment System.

[1] those who are working;

[2] those who are involved with housework, child rearing or caring for a sick family member; and

[3] disability person

[4] those who are deemed to have an equivalent reason

If you wish to use the Extended Enrollment System, please contact and ask the office for Graduate School of Fisheries and Environmental Sciences, Nagasaki University, at telephone number 095-819-2800, after discussing this with your possible supervisor in advance.

(2) Financial Aid Programs

There are several financial aid programs by the Japan Student Service Organization (JASSO), prefectural and municipal governments, and private entities. Most of them are scholarship loans and must be repaid after completion of the program.

Financial aid by JASSO includes “Type I Financial Aid” that is provided free of interest and “Type II Financial Aid” that is provided with interest. If you wish to apply for a financial aid program, please contact and consult directly with the Department of Student Support, Student Support Office, at telephone number 095-819-2104.

13. Contact Information for Inquiries about Examination

The office for Graduate School of Fisheries and Environmental Sciences, Nagasaki University

1-14, Bunkyo-machi, Nagasaki 852-8521

Tel: (095) 819-2800

E-mail: sui_daigakuin@ml.nagasaki-u.ac.jp

October 2023 Enrollment
(July Application)

General Entrance Examination
Entrance Examination for Working People
Entrance Examination for International Students

1. Department and Enrollment Quota

Department	Period	Student Intake
Department of Environment and Fisheries Resources	July	2 students for October Enrollment

Note: Student intake includes those students from a master's program.

2. Application Requirements (Applicants must meet any of the following criteria.)

- (1) Applicants who have a master's degree or professional degree, or are expected to acquire such a degree by September 2023;
- (2) Applicants who have received a degree equivalent to a master's degree or professional degree overseas, or are expected to receive such a degree by September 2023;
- (3) Applicants who have completed class subjects in Japan through correspondence education by an overseas school and received a degree equivalent to a master's degree or professional degree, or are expected to receive such a degree by September 2023;
- (4) Applicants who have completed a curriculum and were conferred a degree equivalent to a master's degree or professional degree at an educational institution in Japan with a curriculum of an overseas graduate school, which is regarded as an institution in line with the pertinent country's education system and is separately specified by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, or are expected to receive such a degree by September 2023;
- (5) Applicants who have completed a curriculum at the United Nations University and were conferred a degree equivalent to a master's degree, or are expected to receive such a degree by September 2023;
- (6) Applicants who have completed a curriculum and have passed an examination or an assessment equivalent to that described in Paragraph 2 of Article 16 of the Standards for the Establishment of Graduate Schools at an overseas school, an educational institution designated in category 4 above, or the United Nations University, or are expected to pass such an examination or an assessment by September 2023; and have been recognized as having academic abilities on par with or higher than those of a person with a master's degree (submission of documents for application qualification screening is required);
- (7) Applicants who are designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (Ministerial Announcement No. 118, Ministry of Education, Science, Sports and Culture, 1989);
 - ① Applicants who have engaged in research at a college/university, research institute, etc., for two or more years after graduating from college/university, and as a result of such research, are recognized as having scholastic abilities equivalent to or higher than those who have a master's degree in relation to the admission to a graduate school (submission of documents for application qualification screening is required);
 - ② Applicants who have engaged in research at a college/university, research institute, etc., for two or more years after completing 16 years of school education overseas or after completing 16 years of school education of an overseas school by completing class subjects in Japan through correspondence education by such overseas school, and as a result of such research, are recognized as having scholastic abilities equivalent to or higher than those who have a master's degree in relation to the

admission to a graduate school (submission of documents for application qualification screening is required.)

- (8) Applicants who are recognized by the Graduate School on the basis of individual application qualification screening as having scholastic abilities equivalent to or higher than those who have a master's degree or a professional degree and are 24 years old or older or will be 24 years old by September 30, 2023 (submission of documents for application qualification screening is required);

For Entrance Examination for Working People, applicants who are working for a company or other institution as a full-time employee at the time of admission, have obtained permission from the head of their institution, and meet any of the above criteria;

For Entrance Examination for International Students, applicants who are not Japanese citizens (excluding those who have a permanent residence permit in Japan) and meet any of the above criteria; however, applicants who graduated from a Japanese university and completed a master's course at a Japanese university cannot apply for this examination.

3. Application Qualification Screening (preliminary application screening, if applicable)

Applicants who fall under the application criteria (6), (7) or (8) listed above must undergo the application qualification screening by the Graduate School in advance, and submit application documents after receiving confirmation that they are qualified to apply for admission to this course.

As a general rule, the assessment will be made on the basis of the documents submitted.

- (1) Deadlines and place of submission of documents for application qualification screening and screening result notification

① Deadlines of submission of documents for application qualification screening

○ **July Application: due no later than 5:00 p.m., Tuesday, May 2, 2023**

② Submit to:

The office for Graduate School of Fisheries and Environmental Sciences, Nagasaki University
1-14, Bunkyo-machi, Nagasaki 852-8521, Japan

③ Screening result notification

You will be notified of the screening results prior to application.

- (2) Required Documents

Required Documents	Remarks
Application for Preliminary Screening [Form 5]	Fill out the form designated by the Graduate School.

Graduation Certificate	An official graduation certificate issued by the president of the university/college (undergraduate or graduate schools) you attended is required. For junior college or vocational school, an official graduation certificate issued by the president of the final school you attended is required.
Academic Transcript	An official transcript issued and sealed by the president of the university/college (undergraduate or graduate schools) you attended is required. For junior college or vocational school, an official transcript issued by the president of the final school you attended is required.
Certificate of Research Activities [Form 6]	Include a list of your theses, research publications, study reports, conference presentations, etc. (if any) on the form designated by the Graduate School.
Outline of Research -and-Development Content [Form 7]	Write a detailed description of the theses or research publications that are listed in the “Research Achievement Report,” on the form designated by the Graduate School, and attach a copy of such publications or other evidentiary or supporting materials.
Return Envelope for Screening Result Notification (For residents in Japan only)	Write your name, address and postal code on the return envelope (<i>Nagagata</i> #3) and put a prescribed postal stamp (for express mail) on it.
Proof of Passing (or Expected Passing) of Qualifying Examination (Applicants who fall under criterion (6))	Official proof issued by the president of the university/college (undergraduate or graduate schools) you attended is required. For junior college or vocational school, official proof issued by the president of the final school you attended is required.
Certificate of Eligibility for Status of Residence (Non-Japanese applicants only)	Submit a copy of your residence card or passport.

Note: Form 7 may be prepared using a word processor.

4. Application Process

(1) Application Period

○ July Application

Thursday, May 11 to Thursday, June 8, 2023

Application forms must arrive by June 8, 2023

(2) Submission Hours: Weekdays 9:00 a.m. to 5:00 p.m. (excluding Saturdays, Sundays,)

(3) Submit to:

The office for Graduate School of Fisheries and Environmental Sciences, Nagasaki University
1-14, Bunkyo-machi, Nagasaki 852-8521, Japan

(4) **When applying for admission, applicants must have undergone an interview, in advance, with a faculty member from whom they wish to receive guidance and write the name of their intended academic supervisor on their application forms.**

(5) Application Documents

Applicants must prepare all the documents listed below and submit them within the application period using the envelope (*kakugata* #2).

Application Documents	Remarks
Application for Enrollment [Form 1] Entrance examination Photo Card, Entrance Admission Ticket, Proof of Payment of Entrance Examination Fee [Form 2]	Fill out all fields, except for those that are marked with an asterisk (*), on the Forms designated by the Graduate School. Your photographs must be 4cm high x 3cm wide, showing a front view of your entire face and upper body (without a hat), and have been taken within the last 3 months.
Graduation Certificate or Completion (or Expected Completion) Certificate	An official graduation certificate issued by the president of the university/college (undergraduate or graduate schools) you attended is required. For junior college or vocational school, an official graduation certificate issued by the president of the final school you attended is required. Applicants who have already submitted this document for application qualification screening do not need to submit it again.
Academic Transcript (Undergraduate or Graduate Schools, etc.)	An official transcript issued and sealed by the president of the university/college (undergraduate or graduate schools) you attended is required. For junior college or vocational school, an official transcript issued by the president of the final school you attended is required. Applicants who have already submitted this document for application qualification screening do not need to submit it again.
Certificate of Research Activities [Form 6]	Include a list of your theses, research publications, study reports, conference presentations, etc. (if any) on the form designated by the Graduate School. Applicants who have already submitted this document for application qualification screening do not need to submit it again.
Outline of Research –and–Development Content [Form 7]	Write a detailed description of the theses or research publications that are listed in the “Research Achievement Report,” on the form designated by the Graduate School, and attach a copy of such publications or other

	<p>evidentiary or supporting materials.</p> <p>Applicants who have already submitted this document for application qualification screening do not need to submit it again.</p>
<p>Abstract of Master Thesis [Form 8]</p>	<p>Write a summary of your master thesis within 2,000 characters on the form designated by the Graduate School.</p> <p>Applicants who do not have a master's degree do not need to submit this document.</p>
<p>Research Plan [Form 9]</p>	<p>Write a description of the research project you wish to conduct on the form designated by the Graduate School based upon prior discussion with your possible supervisor.</p>
<p>A letter of Acceptance on Examination and Enrolment [Form 10] (Entrance Examination for Working People only)</p>	<p>Applicants who currently work for a government office or private company are required to submit permission on the form designated by the Graduate School from the head of your institution for taking the entrance exam and studying at the university</p>
	<p>(1) Payment Period: July Application: Thursday, May 11 – Thursday, June 8, 2023 * Please allow enough time for the payment to be processed as delays can happen due to the working days and hours of a bank.</p> <p>(2) Payment Place: A teller's window at a banking organization (Do not process your payment at an automatic teller machine (ATM). Make sure to process your payment at a teller's window.)</p> <p>(3) Payment Method: (a) Applicants will be responsible for all bank charges required separately when transferring the payment. (b) Write your name (in katakana), address and telephone number properly in black or blue ink in the column marked with an asterisk (*) on the "payment slip for bank transfer of the examination fee." (c) When receiving "proof of payment of the examination fee" from a teller's window, be sure to check that the bank's stamp is included on it.</p> <p>(4) Things to keep in mind when preparing application forms (a) Do not remit the examination fee over again even if you notice a mistake or typo after attaching the already issued "proof of payment of the examination fee" on the "form to attach proof of payment of the examination fee" and you are forced to prepare a new form. In such case, please peel off the "proof of payment" attached and attach it on a new form. (b) If your examination fee is not paid, your "proof of payment of the</p>

<p>Examination Fee (30,000 yen)</p>	<p>examination fee” is not attached in the appropriate space on the form to attach proof of payment of the examination fee, or the stamp of the payment handling bank is not stamped on the “proof of payment of the examination fee,” your application form will not be accepted.</p> <p>(5) An examination fee already paid will not be refunded for any reason except when:</p> <p style="padding-left: 40px;">you have remitted the examination fee but did not apply for admission to Nagasaki University (i.e. you did not send application documents or your application was not accepted) or you remitted the examination fee over again by mistake. In such cases, an amount equal to the examination fee will be refunded upon your request. As a general rule, applicants will be responsible for any bank charges for refunding.</p> <p style="padding-left: 40px;">A request for refund must be made within 14 days of the last day of the application period.</p> <p style="padding-left: 40px;">* Contact information for inquiries about refunds Money Management Unit, Financial Management Section Finance Department, Nagasaki University Tel: (095) 819-2060</p> <p>(6) Applicants who are students sponsored by the Japanese government (the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology) do not need to pay the examination fee.</p>
<p>Return envelope for Sending Exam Admission Card (For residents in Japan only)</p>	<p>Write your name, address and postal code clearly on the return envelope (<i>nagagata</i> #3) and put a prescribed postal stamp (for express mail) on it.</p>
<p>Address Seal</p>	<p>Write your name, address and postal code clearly on the mailing label. Please notify us immediately of a change to your name, address or postal code after submitting the application forms.</p>
<p>Certificate of Eligibility for Status of Residence (Non-Japanese applicants only)</p>	<p>Submit a copy of your residence card or passport. Applicants who have already submitted this document for application qualification screening do not need to submit it again.</p>

Note: Forms 7, 8 and 9 may be prepared using a word processor.

Note: If you cannot obtain your “Graduation Certificate and Completion (or Expected Completion) Certificate” and “Academic Transcript,” due to special circumstances, such as earthquake disaster, be sure to contact and consult with the office for Graduate School of Fisheries and Environmental Sciences, Nagasaki University, at telephone number 095-819-2800. ✕For international students, consult with the intended academic supervisor.

5. Selection of Applicants

(1) Date of Examination

○ **July Application:**

Monday, July 3, Tuesday, July 4 or Wednesday, July 5, 2023

<Day and time designated by examining staff>

(2) Venue of Examination

Nagasaki University Faculty of Fisheries and Faculty of Environmental Science

<Venue designated by examining staff>

(3) Selection Process

Academic achievement tests will be conducted as follows.

○ **General Entrance Examination:**

Written test (for specialized subject and English) or oral examination (interview) (including examination of application documents)

○ **Entrance Examination for Working People and International Students:**

Oral examination (interview) (including examination of application documents)

※ If an applicant hopes to take the examination, please consult with your potential supervisor in advance. The oral examination could be conducted using Online conference system.

(4) Allocation of Scores and Evaluation and Assessment Method of Academic Achievement Test

(Allocation of Scores)

○ **General Entrance Examination:**

Written test: 200 points (100 points for specialized subject and 100 points for English)

Oral examination: 200 points

○ **Entrance Examination for Working People and International Students:**

Oral examination: 200 points

(Evaluation Method)

Evaluation will be made based on the results of the academic achievement test.

(5) Notes on Taking Examination

- Candidates must meet at the designated examination site by the time designated by the Graduate School.
- Make sure to bring with you the examination admission card issued by the Graduate School on the day of the entrance examination.
- If you are late for the start of the examination, you will be allowed to take the examination only if you arrive within 30 minutes of the start of the examination. However, the allotted examination time will not be extended.

6. Announcement of Successful Applicants

- **July Application: 10:00 a.m., Friday, July 28, 2023**

- * The application numbers of successful applicants will be posted on the bulletin board in front of the entrance of the Faculty of Environmental Science and Faculty of Fisheries and a letter of acceptance will be sent to successful applicants.

The University will not respond to any inquiries regarding the results of the examination by telephone or other forms of communication.

7. Enrollment Process

For successful applicants, complete the enrollment process as follows:

(1) Enrollment Process Period (for November and February Applications)

- **Thursday, August 17 to Wednesday, August 23, 2023**

(2) Office Hours: Weekdays 9:00 a.m. to 5:00 p.m. (excluding Saturdays, Sundays and national holidays)

(3) Enrollment Process Venue:

Contact: the office for Graduate School of Fisheries and Environmental Sciences, Nagasaki University

(4) Payment of Fees

Enrollment Fee ¥282,000

<Be sure to remit the amount during the enrollment process period.>

(Note) Enrollment fees shall not be refunded once paid.

[Additional Information]

① Tuition Fee for 2022 (Annually): ¥535,800

(The first semester ¥267,900 / The second semester ¥267,900)

② Payment periods for the tuition fee will be as follows.

The first semester: April

The second semester: October

③ If the tuition fee has been changed, the new tuition fee will apply from the date of revision.

④ There is a provision for exemption or deferment of enrollment and tuition fees available for students.

⑤ Admission and tuition fees are not required for international students recipients of the Japanese government (Monbukagakusho: MEXT) scholarship program.

※Details will be enclosed with the procedural documents sent to successful applicants.

8. Notes

(1) Incomplete application documents will not be accepted.

(2) After the application process, the submitted documents cannot be changed.

(3) No submitted application documents will be returned.

(4) Your admission may be canceled at any time, even after enrollment, if you make a false statement on your submitted application documents.

(5) If any of the submitted application documents are prepared by an overseas school or institution and are written in a language other than Japanese, attach a Japanese translation.

9. Handling of Personal Information

- (1) Information obtained from application documents is used for selecting enrollees. In addition, personal information of successful applicants is used for giving guidance on enrollment procedures; thus, personal information of enrollees will be used for student registration.
- (2) Grades from entrance examinations and other personal information are used for selecting students to be recommended for the first year's scholarships and exemption and postponement of tuition fees.
- (3) Information obtained from application documents and entrance examinations are used in statistical surveys and research related to the selection of enrollees.
- (4) Information obtained from application documents and entrance examinations will not be used for purposes other than the above or provided to third parties except in cases stipulated in Article 9 of the Act on the Protection of Personal Information Held by Independent Administrative Agencies, etc.

10. Application Procedures for Those with Disabilities or Health-Related Needs

Applicants with disabilities or health-related needs will be able to receive special attention on request through a screening process given by the Graduate School (depending on the degree of disability). Those who need special attention in taking the examinations should submit the form 'Request for Applicants with Physical Disability' to the Office for Graduate School prior to application. Please submit the form with a medical certificate by Tuesday, May 2, 2023. Applicants shall not suffer a disadvantage in the screening process by the results of the advance consultation. A personal interview may be arranged with the applicant him/herself, his/her parent, or his/her surrogate.

- The form should list the following information:
 - ① Degree of disability
 - ② Special measures to be taken for examinations
 - ③ Special measures to be taken for course work
 - ④ Special measures that were taken during the applicant's school of graduation
 - ⑤ Special measures that are taken in daily life
 - ⑥ Name, contact address, and phone number of the applicant
- ☆The Nagasaki University Student Accessibility Office will support students and applicants with disabilities.

11. Security Trade Control

Nagasaki University regulates the export of goods and provision of technology subject to safety concerns, in accordance with the Foreign Exchange and Foreign Trade Act, so that the research and education for non-Japanese students do not impede international peace and safety; accordingly, prospective students should keep in mind that they may be requested to change the contents of research and education. For further inquiries, consult the relevant office.

12. Others

(1) Extended Enrollment System

The Extended Enrollment System allows students for whom learning is difficult due to their employment situation or for other reasons to complete the program by covering the curriculum systematically over a certain period that exceeds the standard study period. The Graduate School allows them to extend the study period for up to six years.

If allowed at the time of enrollment, the total tuition fees, which are usually paid over the term of the regular course (three years), will be equally divided by the number of semesters during the extended study period. The divided tuition fee will be paid during the semester.

Those who meet any of the following criteria and who cannot complete the program within the term of the regular course may apply for the Extended Enrollment System.

[1] those who are working;

[2] those who are involved with housework, child rearing or caring for a sick family member; and

[3] disability person

[4] those who are deemed to have an equivalent reason

If you wish to use the Extended Enrollment System, please contact and ask the office for Graduate School of Fisheries and Environmental Sciences, Nagasaki University, at telephone number 095-819-2800, after discussing this in advance with your intended supervisor.

(2) Financial Aid Programs

There are several financial aid programs by the Japan Student Service Organization (JASSO), prefectural and municipal governments, and private entities. Most of them are scholarship loans and must be repaid after completion of the program.

Financial aid by JASSO includes “Type I Financial Aid” that is provided free of interest and “Type II Financial Aid” that is provided with interest. If you wish to apply for a financial aid program, please contact and consult directly with the Department of Student Support, Student Support Office, at telephone number 095-819-2105.

13. Contact Information for Inquiries about Examination

The office for Graduate School of Fisheries and Environmental Sciences, Nagasaki University
1-14, Bunkyo-machi, Nagasaki 852-8521
Tel: (095) 819-2800
E-mail: sui_daigakuin@ml.nagasaki-u.ac.j

Nagasaki University Graduate School of
Fisheries and Environmental Sciences
Doctoral Program

Department of Environment and Fisheries Resources
List of faculty members and research themes

Fisheries Science Program

Teacher name	Main research themes
Amano Masao ※	Ecology and phylogeny of marine mammals
Arakawa Osamu ※	Distribution, dynamics, and physiologic functions of marine toxins that cause food poisoning
Ishibashi Fumito	Synthesis and biological activity of marine natural product
Inoue Tetsushi	Symbiotic associations between microbes and marine organisms
Osatomi Kiyoshi	Pathologic biochemistry of anti-oxidant enzymes in fishes Structures and functions of endogenous proteases in fishes and shellfishes
Kameda Kazuhiko	Study on the modern change of the supply-demand balance of marine products. Socioeconomic study on management of marine resources
Kawabe Ryo ※	Development of methodology for monitoring behavioral and environmental information with animal-borne data recorders Analysis of behavioral response of marine fish to marine environmental changes
Kiyota Masashi	Studies on the health and sustainability of local fisheries and marine ecosystems based on fish stock assessment, ecosystem modeling and ecological indicators
Kuwano Kazuyoshi	Study of sea desertification, Cryopreservation of seaweeds, Control of life cycle of seaweeds
Sakakura Yoshitaka ※	Larviculture and early life history of marine fishes
Satuito Cyril Glenn Perez ※	Elucidating the settlement mechanism of sessile organisms. Developing new antifouling techniques
Shimizu Kenichi	Research on appropriate operation of nautical instruments, Research for on board working environment or sanitary environment
Suga Koushirou ※	Research on infectious diseases of aquaculture species
Suzuki Toshikazu	Plankton ecology, Marine microbial food webs
Soyano Kiyoshi ※	Physiological and endocrinological studies on fish reproduction Effect of environmental factors on fish reproduction Technology development of artificial seed production and aquaculture
Takatani Tomohiro	Influence of environmental factors on the toxin production of microalgae Identification and characterization of marine toxins
Takeda Shigenobu ※	Study on the control mechanism of marine phytoplankton production Interaction of nutrient and trace metal dynamics with biological productivity in the ocean
Taniyama Shigeto	Research on the food and nutrition sciences of marine products
Nishihara Gregory Naoki ※	Research regarding the restoration and conservation ecology of marine forests and blue carbon
Matsushita Yoshiki ※	Research on fishing technologies for sustainable use of fisheries resources
Yamaguchi Atsuko ※	Studies on the taxonomy, life history, and migration of marine fishes, and ecosystem structure and function of the East China Sea
Yamaguchi Kenichi	Studies on protein synthesis systems and functional macromolecules in aquatic/marine organisms
Yamamoto Naotoshi	Study on the Japanese distribution and transaction system on marine products
Wada Minoru	Ecological studies on aquatic microbes
Ichikawa Hisashi	Muscle Biochemistry Marine Food Science
Kawabata Yuuki ※	Anti-predator behaviors of animals; Predator-prey behavioral interactions in marine organisms
Kim Hee-Jin	Physiological ecology of zooplankton Anthropogenic pollutants in the marine environment
Koyama Takashi	Genetics and breeding on aquatic species
Kondo Yoshiko ※	Biogeochemical cycles of trace metals in the ocean
Takikawa Tetsutaro	Physical oceanography, Fluid dynamics of the ocean and atmosphere, Physical processes in the marine ecosystem
Takeuchi Seiji	Population and community dynamics in coastal marine benthos

Takegaki Takeshi	Evolutionary and behavioral ecology of fishes and cephalopods
Takehita Satoshi	Functions of bioactive substances derived from marine biological resources and their applications
Hamada Yuki	Characterization of seafood allergens, Seafood processing and safety.
Hirasaka Katsuya	Research on the functional nutrition derived from marine products
Hirose Miyuki	Fisheries Acoustics. Acoustic Observation of the distribution and behavior of fishes or zooplankton.
Yagi Mitsuharu	Studies on ship navigation and seamanship, Microplastic studies
Yagishita Naoki	Taxonomy, phylogeny, evolution, and molecular ecology of fishes
Yamada Akinori	Molecular biological, ecological and evolutionary studies of marine organisms and symbiotic microbes based on genetic and genomic analysis
Yoshida Asami	Studies on the structures and functions of endogenous proteases in fish and shellfish, and their applications in food science
Wang Yao	Food science and histological research on aquatic products
Ueno Mikinori	Studies on biological activities of natural products from marine organisms Establishments of fish cell culture systems
Nakamura Itsumi	Behavioural ecology and physiology of fishes
Murata Ryosuke	Environmental effects on the reproduction of marine organisms
Kurihara Takeo	Researches on the population dynamics of aquatic organisms (especially mollusks)
Kurota Hiroyuki	Modeling and quantitative methods in fish dynamics, fisheries stock assessment and management
Suzuki Go	Conservation and restoration of the coral reefs
Takahashi Motomitsu	Population dynamics of small pelagic fishes in response to marine environments
Nanami Atsushi	Ecology, biodiversity, conservation and fisheries management of coral reef fishes
Hasegawa Toru	Relationship between plankton community and their environment in the East China Sea

※Marks are full-time faculty members for the doctoral course (5-year Doctoral Program).

Environmental Science Program

Teacher name	Main research themes
Asakura Hiroshi	Development of recycling technology, analysis of microplastics, development of technology for acceleration of stabilization of landfill sites
Iguchi Keiichiro	Conservation of freshwater biodiversity
Umakoshi Kodo	Seismic activity in Unzen Volcano Utilization of geothermal resources
Endo Aiko	Water-energy-food nexus, coastal and ocean policy, interdisciplinary studies
Okada Jiro	Behavioral and sensory mechanisms in invertebrates Effects of anthropogenic environmental chemicals on invertebrate behavior
Kawamoto Kazuaki ※	Aerosol-cloud-precipitation interactions, cloud analysis using satellite data
Katayama Kensuke	National, regional and urban planning under the depopulation, Regional cooperation, Analysis of transformation of European spatial planning
Goto Seiko	Landscape Design, History of Japanese Gardens outside of Japan, Healing Effects of Viewing Japanese Gardens
Takao Yuji ※	Analytical chemistry of harmful organic compounds with trace level in the environment
Nagae Masaki ※	Effects of human medicines on fish behavior and reproductive functions Toxicological evaluation of transboundary air pollution in East Asia
Nakagawa Kei	Fate of environmentally hazardous substances in the subsurface environment Remediation of contaminated soil and groundwater Hydrogeochemistry
Nakayama Hideki	Elucidation and application of biological functions that contribute to the upcycling of environmental pollutants

Nishiyama Masaya	Microorganisms and minerals in soil and rhizosphere
Muto Tetsuji ※	Morphodynamics and genetic stratigraphy of alluvial-shelf sedimentary systems
Yamaguchi Noriyuki	Movement ecology of migratory birds
Watanabe Takashi	Identification of characteristics of open spaces and landscape Evaluation of ecological functions of open spaces and landscape Identification of present situation of local municipality managements and civic activities about conservation and restoration of open spaces and landscape
Iima Masafumi	Study of conservation of endangered algal species
Ota Masahiko	Forest policy and economics, natural resource management, rural livelihoods, community development, and Education for Sustainable Development (ESD) both in developing and developed countries
Kagabu Makoto	Scientific assessment of the interaction between the hydrological cycle and human activities by adopting groundwater age dating and isotope hydrology methods
Kuroda Satoru	Environmental Sociology, Regional Sociology, Community Collaborative Resource Management, Consensus Building Theory, Support for earthquake reconstruction activities, Sustainability of environmental conservation
Shigetomi Yosuke	Studies on consumption-based environmental pressures and quantitative sustainability assessment using the environmentally extended input-output analysis
Shirakawa Seiji	Design of Organocatalysts and Its Application to Environmentally Benign Organic Synthesis
Seki yoko	environmental philosophy, environmental ethics, ethics for co-existence
Suk Sunhee	Researches on the micro and macro impact of market-based environmental policies on the economy and environment
Takehita Takayuki	Energy system modeling and analysis, Assessment of clean energy technologies
Tomozawa Yuuki	Historical studies on Japanese grassroots anti-pollution movements and its philosophy
Nakayama Tomoki	Laboratory and observational studies of behavior and properties of gases and aerosol particles in the atmosphere
Hattori Mitsuru	Effects of species interactions on adaptation of organisms
Hamasaki Hironori	watershed governance, water resources and environment governance, study on policy instruments and stakeholder coordination for better water governance
Fukami Satoshi	Sustainable tourism, Biocultural diversity Island tourism, Ecotourism Geopark, UNESCO world heritage, Geographical and environmental education
Honjyou Moe	Animal Welfare Law, Comparative studies of animal law between the EU and the U.S.
Yamaguchi Masahiro	Effects of air pollution and global change on plants
Yamamoto Yuki	Evaluation of the impact of environmental degradation on social welfare
Yoshida Mamoru	Disaster risk management, Disaster risk governance, urban and community planning for disaster risk reduction
Wadachi Yoko※	The EU environmental governance as a case of the environmental politics study
Kubo Takashi	Evaluation of environmental risks caused by toxic chemicals
Takasu Hiroyuki	Evaluation of impact of terrestrial matter inflow on coastal environment

※Marks are full-time faculty members for the doctoral course (5-year Doctoral Program).